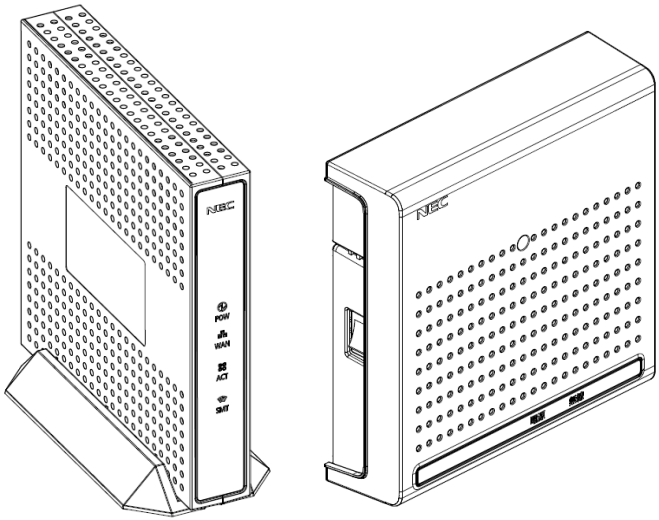
NEC

取扱説明書

HEMS 新築向けセット（IG1003STS1/SK）
HEMS 新築向けセット（IG1003STS2/SK）
HEMS 既築向けセット（IG1003STK1/SK）
HEMS 既築向けセット（IG1003STK2/SK）
HEMS 既築向けセット（IG1003STK3/SK）
HEMS 交換用セット（IG1003STE1/SK）



本書をお読みになる前に別紙「つなぎかたガイド」をご覧ください。本サービスが使えるようになるまでの接続と設定の手順を説明しています。

AM1-002783-001

はじめに

このたびは、ホームエネルギーマネジメントシステム（Home Energy Management System 以下 HEMSと略す） 新築向けセット/HEMS 既築向け/交換用セット をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。本 HEMS は、ご家庭のエネルギーを”見える化”することで、ご家庭での省エネ、節電を支援するものです。
本書では本商品の設置・接続のしかたから、さまざまな機能における操作・設定方法、困ったときの対処方法まで、本商品を使いこなすために必要な事項を説明しています。本商品をご使用の前に、本書を必ずお読みください。また、本書は読んだあとも大切に保管してください。

マニュアル構成

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的に合わせてお読みください。

	つなぎかたガイド（小冊子）	基本的な接続パターンを例に本サービスが使えるようになるまでの接続と設定の手順をわかりやすく紹介しています。
	取扱説明書（本書）	本商品の基本機能についての説明書です。

お知らせ

本文中では、本商品をそれぞれ次のように呼びます。

本商品の名称	本文中で使用している名前
HEMS 新築向けセット（IG1003STS1/SK） HEMS 新築向けセット（IG1003STS2/SK） HEMS 既築向けセット（IG1003STK1/SK） HEMS 既築向けセット（IG1003STK2/SK） HEMS 既築向けセット（IG1003STK3/SK） HEMS 交換用セット（IG1003STE1/SK）	HEMS
電流センサ	Current Transformer （以下 CT と略す）

電波に関する注意事項

- 本商品は 920MHz 帯域の電波を使用しております。
  （1） 本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  （2） 万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
  （3） その他、電波干渉の事例が発生し、お困りのことが起きた場合には、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。
- 本商品には、電波法の技術基準に適合した無線モジュールを内蔵しています。

商標について

Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista は、Windows Vista Home Basic、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Business および Windows Vista Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット(x86)版の略です。
本商品の Windows Vista のサポートは、Windows Vista がプリインストールされているパソコン、Capable ロゴのついたパソコン、またはメーカが Windows Vista の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
本商品の Windows 8.1、Windows 8 および Windows 7 のサポートは、Windows 8.1、Windows 8 および Windows7 がプリインストールされているパソコン、またはメーカが Windows 8.1、Windows 8 および Windows 7 の利用を保証しているパソコンのみです。自作のパソコンはサポートしておりません。
Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
スマートハイムナビおよび快適エアリーは、積水化学工業株式会社の商標または登録商標です。
エコキュートは、関西電力株式会社の登録商標です。

安全にお使いいただくために～必ずお読みください～

本書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

本書中のマーク説明

警告	警告	人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	注意	人が軽傷を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	お願い	本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容を示しています。

図記号の説明

■警告・注意を促す記号

発火注意

感電注意

一般注意

高温注意

■行為を禁止する記号

一般禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

火気禁止

■行為を指示する記号

電源プラグをコンセントから抜け

警告

電源

- AC100V の家庭用電源以外では使用しないでください。火災、感電の原因となります。
  差込口が2つ以上ある壁の電源コンセントに他の電気製品のAC アダプタを差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災、感電、故障の原因となります。

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。火災、感電の原因となります。
  また、重いものをのせたり、加熱したりすると電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。

⚠ 警告

電源

- 本商品の AC アダプタは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱、劣化し、火災の原因となります。

- AC アダプタは必ず本商品に添付のものをお使いください。また、本商品に添付の AC アダプタは、他の製品に使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。

- AC アダプタにものをのせたり布を掛けたりしないでください。過熱し、ケースや電源コードの被覆が溶けて火災、感電の原因となります。

- 本商品添付の AC アダプタは日本国内 AC100V（50/60Hz）の電源専用です。他の電源で使用すると火災、感電、故障の原因となります。

- AC アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。AC アダプタは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに差し込んでください。

- AC アダプタ本体が宙吊りにならないように設置してください。AC アダプタの電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。

- 測定装置の電源コードを商用コンセントに接続する場合、電源コードは、容易に抜き差し可能な電源コンセントに接続してください。

こんなときは

- 万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電の原因となります。
  - 情報収集装置
    すぐに情報収集装置の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
  - 測定装置
    測定装置の電源コードがコンセントに接続されている場合は、電源コードをコンセントから抜き、電源スイッチをオフにしてください。分電盤から屋内配線されている場合は、測定装置が接続されている分電盤のブレーカをオフにし、測定装置の電源スイッチをオフにしてください。

  煙が出なくなるのを確認してから、販売会社またはアフターサービス担当に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

- 本商品を水や海水につけたり、ぬらしたりしないでください。万一内部に水が入ったりぬれたりした場合は、すぐに本商品の AC アダプタや電源コードをコンセントから抜いて販売会社またはアフターサービス担当にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 警告

こんなときは

- 本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの、異物を差し込んだり落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに本商品の AC アダプタや電源コードをコンセントから抜いたあと、販売会社またはアフターサービス担当にご連絡ください。
  そのまま使用すると、火災、感電、故障の原因となることがあります。特にお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

- 電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに本商品の AC アダプタや電源コードをコンセントから抜いて、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。

- 万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタや電源コードをコンセントから抜いて、販売会社またはアフターサービス担当にご連絡ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となることがあります。

禁止事項

- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接関わる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。

- 本商品を分解・改造したりしないでください。火災、感電、故障の原因になります。

- ぬれた手で本商品を操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

その他のご注意事項

- 航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。

- 本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因になることがあります。
  また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

⚠ 警告

その他のご注意事項

- 本商品のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり中に入った場合、火災、感電、故障の原因となることがあります。
- 本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生するおそれがあります。
- ふろ場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

設置場所

- 直射日光の当たるところや、ストーブ、ヒータなどの発熱器のそばなど、温度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、本商品の上にものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。
- 本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使い方はしないでください。
  - 収納棚や本棚などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
  - じゅうたんや布団の上に置く
  - テーブルクロスなどを掛ける
- 本商品を重ね置きしないでください。重ね置きをすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
- 温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品の内部に結露が発生し、火災、感電、故障の原因となります。
- 測定装置は垂直面以外の壁や天井などには取り付けないでください。振動などで落下し、故障、けがの原因になります。

⚠ 注意

設置場所

- 本商品は、横置きにはしないでください。通風孔がふさがれ、内部に熱がこもり、故障の原因となったり、通信特性が悪化する原因になります。
- 本商品を落とさないでください。落下によって故障の原因になったり、そのまま使用すると火災・感電の原因になることがあります。万一、本商品を落としたり破損した場合は、すぐに本商品の AC アダプタをコンセントから抜いて、販売会社またはアフターサービス担当にご連絡ください。

電源

- 本商品の AC アダプタの電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 本商品の AC アダプタの電源プラグとコンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
- 情報収集装置を移動させる場合は、情報収集装置の AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず本商品の AC アダプタをコンセントから抜いてください。
- 本商品の使用中や使用直後、AC アダプタは、高温になる場合があり、やけどなどのおそれがありますので注意してください。
- 本商品の使用中、長時間にわたり身体の一定箇所が本商品に触れたままになっていると低温やけどを起こす可能性があります。

禁止事項

- 本商品に乗らないでください。特に小さいお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。
- 雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。
- つなぎかたガイドに従って接続してください。間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

STOP お願い

設置場所

- 本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のようなところへの設置は避けてください。
  - 振動が多い場所
  - 気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
  - ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
  - 高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 電気製品・AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品とコードレス電話機や電子レンジなど、電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 測定装置は壁掛け専用です。同じ場所に長期間設置すると、壁紙が変色（色あせ）する場合があります。
- 情報収集装置と測定装置間の電波環境が不安定になりますので、情報収集装置および測定装置は、金属で覆われた場所や、金属の箱の中に設置しないでください。また、鋼板など金属物からは、10cm以上離してください。
- ルータを介さずに情報収集装置をインターネットに接続すると、情報収集装置が第三者からアクセスされる可能性があります。安全にお使いいただくために、情報収集装置はルータを介してインターネットに接続してください。

禁止事項

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 動作保証環境外の場所に置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。
- 情報収集装置を移動するときは、ルータから取り外してください。故障の原因となることがあります。
- 動作中に接続コード類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となります。動作中は、コネクタの接続部には触れないでください。
- 本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れ直さないでください。10 秒以上の間隔をあけてから電源を入れてください。すぐに電源を入れると電源が入らなくなることがあります。

日ごろのお手入れ

- ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。本商品の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対にふかないでください。

その他のご注意

- 測定装置の設置は、第二種電気工事士の資格を持った販売会社またはアフターサービス担当が行ってください。
- 本商品は屋内専用です。

目次

はじめに **2**
マニュアル構成 2
電波に関する注意事項 2
商標について 3

安全にお使いいただくために～必ずお読みください～ **4**
本書中のマーク説明 4

目次 **10**

1 本商品でできること **12**

2 本商品の構成をチェックする **13**
2.1 構成品 13

3 各部の名称とはたらき **14**
3.1 情報収集装置 14
3.2 測定装置 15

4 情報収集装置を設置する **16**
4.1 情報収集装置の置き場所を決める 16
4.2 情報収集装置を接続して電源を入れる 16

5 測定装置の電源を入れる **18**

6 確認する **19**
6.1 WWW ブラウザの設定を確認する 19
6.2 ルータの設定を確認する 19
6.3 蓄電システムの取り付けを確認する 19
6.4 快適エアリーの取り付けを確認する 19
6.5 EV 充放電システムの取り付けを確認する 19

7 「初回ログイン登録」に登録する **20**
7.1 登録する情報 20
7.1.1 お客様・ご家族様情報 20
7.1.2 住戸情報 21
7.1.3 設備情報 21
7.1.4 ネットワーク情報 22
7.1.5 測定回路情報 22
7.1.6 太陽電池情報 23
7.1.7 蓄電池情報 24
7.1.8 EV 充放電システム 24
7.1.9 快適エアリー名称設定 25
7.2 登録する 26
7.2.1 お客様情報の登録をする 27
7.2.2 情報収集装置の設定をする 32
7.2.3 目標値を設定する 36

7.2.4 任意 ID を設定する 37
7.2.5 ネットワーク情報を変更する 37

8 日々のご利用について 46
8.1 データダウンロード 47
8.2 目標値設定 48
8.3 設定情報の確認・変更 50
8.3.1 メールアドレスを確認する・変更する 50
8.3.2 お客様の登録情報を確認する・変更する 52
8.3.3 ログインパスワードを確認する・変更する 53
8.3.4 設定されている電気料金の内容を確認する 55
8.3.5 設定されているガス料金の内容を確認する・変更する 57
8.3.6 情報収集装置の設定内容を確認する 58
8.3.7 情報収集装置の設定を変更する 60

9 ファームウェアの更新 61

10 初期化をする 64

11 情報収集装置と測定装置のペアリングを行う 65
11.1 情報収集装置に登録されている「測定装置情報」を確認する 67

12 情報収集装置の無線設定を変更する 70

13 構成情報を復旧する 72

14 トラブルシューティング 75
14.1 設置に関するトラブル 75
14.2 ご利用開始後の Q&A 77

15 製品仕様 78
15.1 情報収集装置 78
15.2 測定装置 79
15.3 電流センサ 79

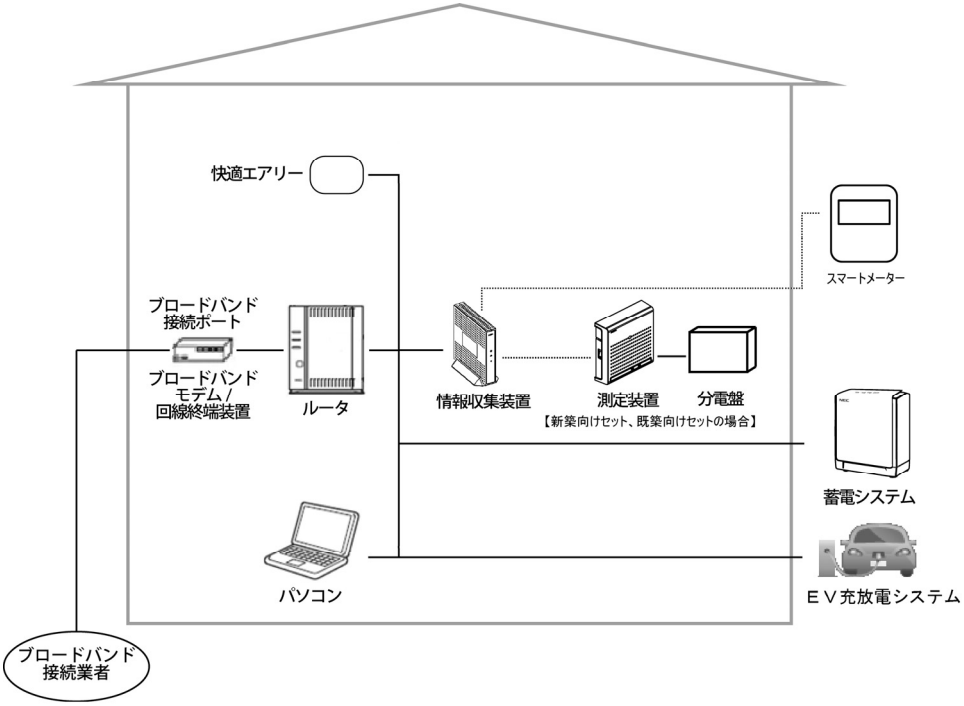
16 ご相談窓口 80

17 索引 81

18 ご使用にあたってのお願い 82

1　本商品でできること

本商品は、測定装置をご家庭の分電盤に、情報収集装置をルータ経由でブロードバンドに接続することにより、ご家庭でお使いの電力量を見ることができます。
また、本商品で対応している蓄電システム、快適エアリー、EV 充放電システム、およびECHONET Lite 対応機器をお使いの場合は、機器の状態を見ることや操作をすることができます。

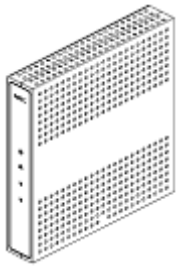


2　本商品の構成をチェックする

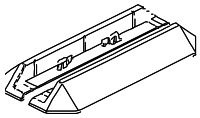
設置をはじめる前に、構成品がすべてそろっていることを確認してください。不足しているものがありましたら、販売会社またはアフターサービス担当に連絡してください。
測定装置および CT は工事業者によりあらかじめ設置されていますので、設置場所にて確認してください。

2.1　構成品

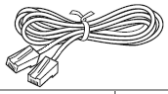
□情報収集装置
（IG1003/SK）



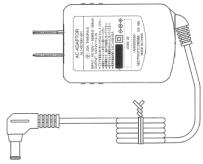
□スタンド



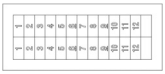
□LAN ケーブル
（カテゴリ 5e ストレート）



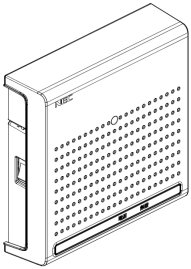
□AC アダプタ



□番号シール※1



□測定装置　（IM0001）※1



□取扱説明書（本書）
□つなぎかたガイド※1
□保証書

□スマートハイムナビ ご利用にあたって※1
□トラブル対応チェックシート（A 片）
□トラブル対応チェックシート（B 片）

□主幹および PV 用 CT※1

HEMS 新築向けセットの場合　CTF-13NF-NE
　IG1003STS1/SK　・・・・・・・・・3 ケ
　IG1003STS2/SK　・・・・・・・・・4 ケ

HEMS 既築向けセットの場合　CTF-13NF-NEW
　IG1003STK1/SK　・・・・・・・・・3 ケ
　IG1003STK2/SK　・・・・・・・・・4 ケ

□分岐用 CT※1

HEMS 新築向けセットの場合　CTF-6-NE
　IG1003STS1/SK　・・・・・・・・・8 ケ
　IG1003STS2/SK　・・・・・・・・・8 ケ

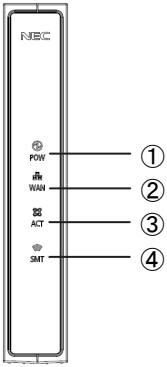
HEMS 既築向けセットの場合　CTF-6-NEW
　IG1003STK1/SK　・・・・・・・・・8 ケ
　IG1003STK2/SK　・・・・・・・・・8 ケ
　IG1003STK3/SK　・・・・・・・・・8 ケ

※1　HEMS 交換用セット（IG1003STE1/SK）には含まれません。

3　各部の名称とはたらき

3.1　情報収集装置

前面



名称	説明
① POW ランプ	電源の状態を表示します
② WAN ランプ	WAN 側の状態を表示します
③ ACT ランプ	測定装置との通信状態を表示します
④ SMT ランプ	スマートメータとの通信状態を表示します※1

※1.現時点では機能未搭載のためファームウェアのアップデート動作時以外は、常時消灯となります。

【ランプ表示】

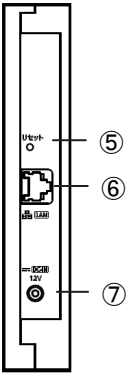
本商品の状態	ランプ名称		ランプの状態	
運用中（ペアリング※1 中を除く）		POW ランプ	点灯	動作中
		WAN ランプ	点灯	サーバーとの通信：正常
			点滅（点滅周期：1 秒）※2	サーバーとの通信：異常
		ACT ランプ	点灯	測定装置との通信：正常
			点滅（点滅周期：1 秒）※2	測定装置との通信：異常
		SMT ランプ	消灯	
ペアリング中		POW ランプ	点滅（点滅周期：1 秒）※2	
ペアリング失敗		POW ランプ	点滅（点滅周期：0.5 秒）※3	

※1.　情報収集装置と測定装置の無線の設定を行い、通信ができるようにすることを「ペアリング」といいます。工場出荷時は、同梱の測定装置とペアリング済みです。

※2.　点滅（点滅周期：1 秒）：0.5 秒点灯→0.5 秒消灯の繰り返し

※3.　点滅（点滅周期：0.5 秒）：0.25 秒点灯→0.25 秒消灯の繰り返し

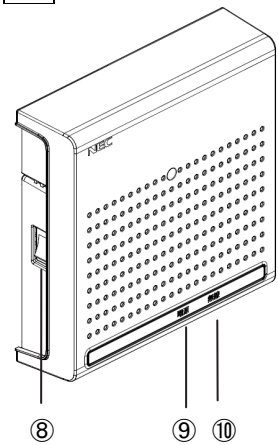
背面



名称	説明
⑤リセットボタン	初期化するとき、測定装置とペアリングするときに使用します（→P.64、65）
⑥LAN コネクタ（LAN インターフェース）	ルータの LAN コネクタに接続します
⑦AC アダプタ接続コネクタ	AC アダプタを接続します

3.2 測定装置

前面



名称	説明
⑧電源スイッチ	電源のオン(｜)／オフ(○)を行います ｜ ―― オン ○ ―― オフ
⑨電源ランプ	電源の状態を表示します
⑩無線状態表示ランプ	情報収集装置との通信の状態を表示します

【ランプ表示】

本商品の状態	ランプ名称	ランプの状態	
運用中 (ペアリング中を除く)	電源ランプ	点灯	動作中
	無線状態表示ランプ	点灯	情報収集装置との通信:正常
		点滅 (点滅周期:1 秒) ※1	情報収集装置との通信:異常
ペアリング中	電源ランプ	点滅(点滅周期:1 秒)※1	
ペアリング失敗	電源ランプ	点滅(点滅周期:0.5 秒)※2	

※1. 点滅(点滅周期:1 秒):0.5 秒点灯→0.5 秒消灯の繰り返し
※2. 点滅(点滅周期:0.5 秒):0.25 秒点灯→0.25 秒消灯の繰り返し

4　情報収集装置を設置する

4.1　情報収集装置の置き場所を決める

情報収集装置には電源、ルータ、パソコンなどを接続します。ケーブルの長さが決まっているものもあるので、ポイントとなる点をいくつかあげます。

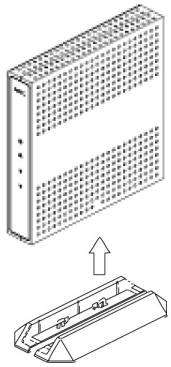
- 情報収集装置はルータのそばに置く
- 情報収集装置用の電源コンセントを確保する
- 情報収集装置は、測定装置から電波の届く距離に置く

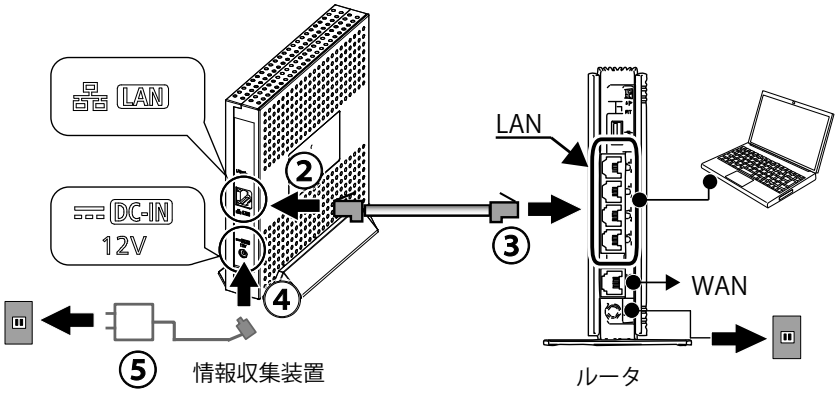
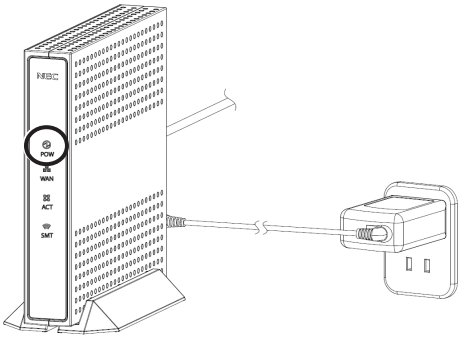
⚠ 注 意

- 必ず、ルータに接続してください。接続しないと、セキュリティ上の問題が発生するおそれがあります。
- 無線で届く範囲は壁や家具、什器など周囲の環境により利用できる範囲は短くなります。
- 本商品は、アンテナが内蔵されています。設置位置により十分な通信特性が得られない場合があります。
- 設置場所については、以下の点に注意してください。
  - 情報収集装置は、測定装置との間に電波遮蔽物（鋼板建具、コンクリート壁等）の少ない場所へ設置してください。
  - 金属で覆われた場所や、金属の箱の中には設置しないでください。
  - 鋼板など金属物からは、10cm 以上離してください。

4.2　情報収集装置を接続して電源を入れる

情報収集装置をルータに接続します。

1	スタンドを取り付ける 
2	LAN ケーブルを情報収集装置の LAN コネクタに差し込む
3	LAN ケーブルをお手持ちのルータの LAN コネクタ等に差し込む※1 ※1. お手持ちのルータの取扱説明書をご覧になり、正しくケーブルを接続してください。 ネットワークの設定を行うことができますが、通常は DHCP モードでの使用を推奨します。

4	AC アダプタのプラグを情報収集装置の AC アダプタ接続コネクタに差し込む
5	AC アダプタを電源コンセントに接続する  ※ 蓄電池の状態を見るためには、蓄電池コントローラ（シスコンまたはリモコン）から LAN ケーブルを使ってルータと接続する必要があります。 ※ 快適エアリーおよび EV 充放電システムは、ご家庭内のルータもしくは HUB のネットワークに接続されている必要があります。
6	POW ランプが点灯または点滅していることを確認する ※ 工場出荷時は、同梱の測定装置とペアリング済みです。 ※ 情報収集装置の起動完了は、電源を入れてから約 50 秒間（POW ランプは、点灯状態）かかります。起動が完了すると POW ランプが一旦、消灯して以下の状態になります。 点滅 ： 初期化状態の場合 点灯 ： ペアリング済み、または構成情報を登録している場合 
7	ご利用のパソコンがインターネットを使える環境になっていることを確認する 『「初回ログイン登録」に登録する』ではパソコンを使用し、専用サイトに接続して設定を行います。インターネットが使える環境になっていることを確認してください。

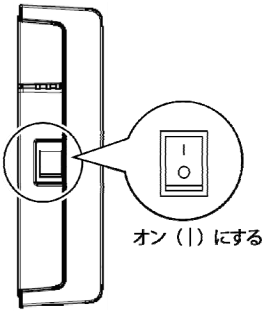
お知らせ

● スタンドを外す場合は、スタンドを本商品の下側へ引っ張って取り外してください。

5　測定装置の電源を入れる

注 意

- 測定装置は、工事業者によってあらかじめ設置されています。
- 測定装置が取り付けられていない場合は、販売元の工事業者が行います。お客様自身での取り付けはしないでください。
- 測定装置のカバーは開けないでください。開ける必要がある場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。

1	測定装置の電源を入れる 
2	情報収集装置と測定装置の両方の電源を入れてから約 2 分後、接続が正しいかどうか、ランプの状態を確認します。 情報収集装置 POW ランプ：点灯 WAN ランプ：点灯※1 測定装置 電源ランプ：点灯 ※1. WAN ランプが点滅しているときは、インターネットに接続できていません。「情報収集装置を接続して電源を入れる（→P.16）」の接続を確認してください。

6　確認する

6.1　WWW ブラウザの設定を確認する

［サポート OS とブラウザ］

OS	ブラウザ
Windows8.1	Internet Explorer 11
Windows8	Internet Explorer 10
Windows7	Internet Explorer 9, Internet Explorer 8
Windows Vista	Internet Explorer 7

WWW ブラウザ（Internet Explorer など）の接続設定を「ダイヤルしない」に変更します。

6.2　ルータの設定を確認する

ネットワークの設定を行うことができますが、通常は DHCP モードでの使用を推奨します。
確認のしかたは、ルータの取扱説明書等をご覧ください。

6.3　蓄電システムの取り付けを確認する

蓄電の状態を見る場合に必要です。
蓄電システムは、工事業者によってあらかじめ設置されています。

6.4　快適エアリーの取り付けを確認する

快適エアリーの操作および、状態を見る場合に必要です。
快適エアリーは、工事業者によってあらかじめ設置されています。

6.5　EV 充放電システムの取り付けを確認する

EV 充放電システムの状態を見る場合に必要です。
EV 充放電システムは、工事業者によってあらかじめ設置されています。

7 「初回ログイン登録」に登録する

本商品をお使いになるためには、あらかじめ、お客様情報などを登録していただく必要があります。

お知らせ

- 本商品に同梱してある「スマートハイムナビ　ご利用にあたって」を用意してください。

7.1 登録する情報

登録していただく情報は、下記のようなものになります。
登録後でも、設定の変更にて登録情報を変更することができます。

7.1.1 お客様・ご家族様情報

SMARTHEIM　セキスイハイム.

文字サイズ 小 中 大

登録項目について

お客様・ご家族様情報

メールアドレス		お客様のメールアドレスが表示されます。 ※メールアドレスの変更は「設定情報確認・変更」の「メールアドレスを確認する・変更する」から実施してください。
家族人数		同居しているご家族の合計人数です。(ご本人も含めます) ・ご誕生や独立などで人数に変更があった場合は設定変更してください。 ・一般家庭以外に設置する場合は「0」と入力してください。
家族構成		同居しているご家族の家族構成です。 ・ご誕生や独立などで変更があった場合は設定変更してください。
世帯主の生年		世帯主様の生年です。
一番下のお子様(未成年)の生年		最も年少のお子様の生年です。 ・ご誕生や独立などで変更があった場合は設定変更してください。 ・該当するお子様がいらっしゃらない場合は空欄のままにしてください。
世帯主の休日	第1休日	世帯主様の、お仕事がお休みの曜日を選んでください。 週に2日お休みがある場合は、もう1日の曜日を選んでください。 特にお休みの曜日が決まっていない場合は、「不定休」を選んでください。 退職するなどで無職の場合は、「なし」をお選びください。 ・職場異動などで変更があった場合は設定変更してください。
	第2休日	
契約電力会社		現在契約している電力会社名です。
契約料金コース		現在契約している電力契約料金コースです。 ・コース変更した場合は設定も変更してください。
太陽光発電買取価格		1kWhあたりの太陽光発電買取価格を設定してください。 ・買取価格は下記URLからご確認ください。 ・経済産業省　資源エネルギー庁 http://www.enecho.meti.go.jp/category/saving_and_new/saiene/kaitori/kakaku.html

7.1.2 住戸情報

住戸情報

都道府県	お住まいの都道府県名です。
郵便番号	お住まいの郵便番号です。
建築年	お住まいの住宅が建築(竣工)された年(西暦)です。
住戸商品タイプ	お住まいの住宅の種類です。 ・ハイム(鉄骨系)にお住まいの方は、屋根形状(陸屋根または勾配屋根)を選んでください。 ・ツーユー(木質系)にお住まいの方は、構造体種類(2×4または2×6)を選んでください。 ・セキスイハイム・ツーユーホーム以外にお住まいの方は、その他を選んでください。
延床面積	スマートハイムナビの計測対象となる部分(※)の、延床面積です。 ※電力測定装置を設置した分電盤によって電力が供給される部分 ・賃貸併用住宅の場合で、電力測定装置を母屋のみに設置している場合は、母屋の床面積の合計。 ・二世帯住宅の場合で、電力測定装置を子世帯のみに設置している場合は、子世帯の床面積の合計。

7.1.3 設備情報

設備情報

情報収集装置製造番号		情報収集装置を識別するための番号です。 装置の裏面ラベルに記載されています。(例:1Z00001SA)
太陽光発電(PV)メーカー		使用されている太陽光発電システムのメーカー名です。 シャープ製をお使いの方は、結晶型が薄膜型かをお選びください。 <table><tr><th></th><th>回面表記 (太陽光パネル)</th><th>選択肢</th></tr><tr><td rowspan="6">結晶型</td><td>PV(多結晶モジュール)</td><td>シャープ(結晶型)</td></tr><tr><td>TPV(単結晶モジュール)</td><td>シャープ(結晶型)</td></tr><tr><td>PVK(多結晶モジュール)</td><td>京セラ</td></tr><tr><td>PVY(多結晶モジュール)</td><td>カネカ</td></tr><tr><td>PVO(多結晶モジュール)</td><td>ソーラーフロンティア</td></tr><tr><td>薄膜型</td><td>PVH</td><td>シャープ(薄膜型)</td></tr></table>
太陽光発電(PV)の方位		太陽光発電システムのパネルが向いている方位です。
2方位以上の設置有無		太陽光発電システムのパネルが2方向以上ある場合(寄棟屋根など)です。
給湯器の種類		お使いの給湯器の種類です。
調理器の種類		お使いの調理器の種類です。
電気以外の 暖房エネルギー源		電気以外に暖房用エネルギーに使用している場合です。
LDKの主暖房種類		LDKで使用している主暖房の種類です。
補助暖房種類		使用している補助暖房があれば選んでください。
換気種類	**第1種換気システム**	吸気と排気の両方を行う換気方式です。 (エアーファクトリー、空気工房、快適エアリー第1種換気が該当します。)
	第3種換気システム	排気のみを行う換気方式です。 (24時間換気システム、エア換気システム、快適エアリー第3種換気が該当します。)
	なし	換気システムがついていない場合は、「なし」をお選びください。

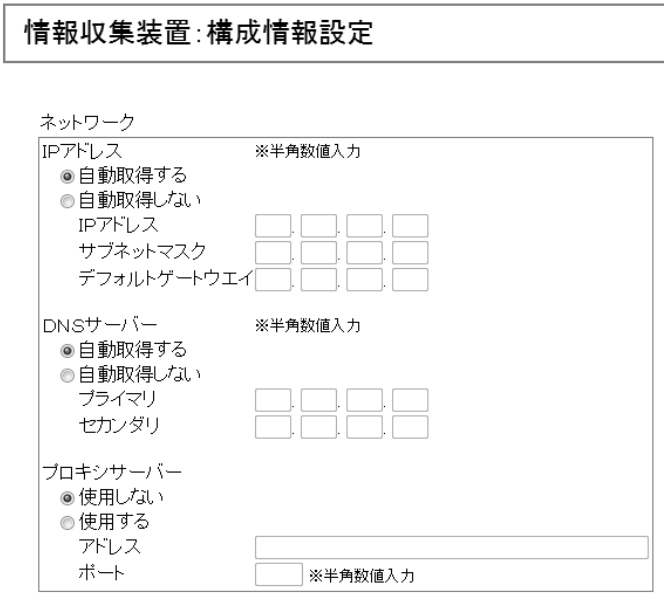
7.1.4 ネットワーク情報

ネットワークの設定を行うことができますが、通常は DHCP モードでの使用を推奨します。

IP アドレス	自動取得する
DNS サーバー	自動取得する
プロキシサーバー	使用しない

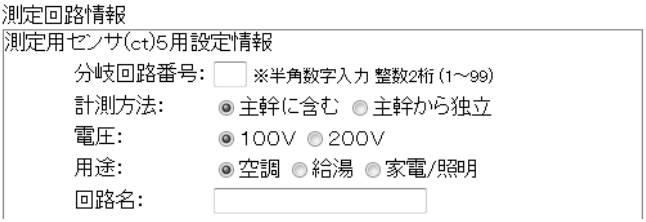
上記の設定から変更する際は、あらかじめ設定する IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバーの IP アドレス、プロキシサーバーのアドレス等を確認してください。

DNS サーバーを「自動取得しない」場合で、「セカンダリ」の DNS サーバーが存在しない場合は、「セカンダリ」に「プライマリ」と同じ IP アドレスを入力してください。



7.1.5 測定回路情報

測定回路情報に関わる情報の詳細は、工事業者にご確認のうえ、設定するようにしてください。

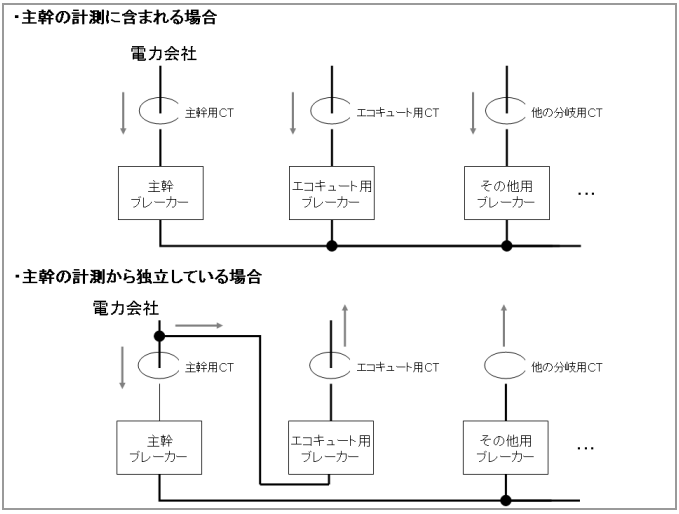


(1) 分岐回路番号

複数ある分岐回路のうち測定用センサ 5～12 を取り付けている分岐回路番号を入力します。分電盤の各分岐回路のブレーカに書かれている数字を入力しておくと、わかりやすい番号になります。

(2)計測方法

測定用センサ 5～12 を取り付けている分岐回路が、主幹の計測に含まれているか、独立しているかを設定します。エコキュートを使用している場合、主幹から独立している場合があります。エコキュートを使用していない場合や給湯以外の分岐回路の場合は、主幹の計測に含まれることになります。



(3)電圧

測定用センサ 5～12 が取り付けてある分岐回路の電圧を指定します。100V または 200V のどちらかになります。

(4)用途

測定用センサ 5～12 が取り付けてある分岐回路の用途を指定します。空調、給湯、家電／照明のどれかを選択します。

(5)回路名称

測定用センサ 5～12 を取り付けている分岐回路名称を入力します。分電盤の各分岐回路のブレーカに書かれている名称を入力しておくと、わかりやすい名前になります。

7.1.6 太陽電池情報

太陽電池情報

太陽電池容量

1台目: ◉なし ○あり [ ] kW ※半角数字入力 整数3桁、小数点第2位まで入力可

2台目: ◉なし ○あり [ ] kW

その他: ◉なし ○あり [ ] kW

CT接続方法(※変更する場合は、CTの接続位置を確認してください。)

◉1台目に2個(CT3、CT4)接続

○1台目に1個(CT3)接続

○1台目に1個(CT3)接続、2台目に1個(CT4)接続

(1)太陽電池容量
太陽電池の容量を太陽電池ごとに入力します。
3 台以上ある場合は、3 台目以降の各太陽電池の容量を合算した値をその他に入力します。

(2)CT 接続方法
CT の各太陽電池への接続方法を選択します。
マルチエネルギーモニタを使用する場合は、設定を変更する必要はありません。

7.1.7 蓄電池情報

蓄電池の状態を見るときは、
ECHONET Lite 未対応の蓄電池の場合:「蓄電池(ECHONET Lite 未対応)を使用する」
ECHONET Lite 対応の蓄電池の場合:「蓄電池(ECHONET Lite 対応)を使用する」
を選択します。
マルチエネルギーモニタを使用する場合は、「蓄電池(ECHONET Lite 対応)を使用する」を選択します。

蓄電池情報
◉ 蓄電池を使用しない
◯ 蓄電池(ECHONET Lite未対応)を使用する
蓄電池メーカー: ◯ NEC ◯ ニチコン
蓄電池製造番号:
蓄電システムとの通信テスト: 実行
※「設定」ボタンを押して、構成情報設定が完了していないと、実行できません。
◯ 蓄電池(ECHONET Lite対応)を使用する

(1)蓄電池メーカー
ECHONET Lite 未対応の蓄電池の場合には、蓄電池のメーカーを選択します。

(2)蓄電池製造番号
ECHONET Lite 未対応の蓄電池の場合には、蓄電池の製造番号(NEC:蓄電池本体 ニチコン:リモコン画面)を入力します。

7.1.8 EV 充放電システム

EV 充放電システムの状態を見る場合は、「使用する」を選択します。

EV充放電システム
◉ 使用しない ◯ 使用する

7.1.9 快適エアリー名称設定

快適エアリーの名称を入力します。
本設定は、本商品に対応している快適エアリーが接続されている場合のみ、表示されます。

快適エアリー名称設定

ゾーン番号(製造番号)：0(00010000008)
ゾーン名称：
系統A名称：
系統B名称：
系統C名称：

(1)ゾーン番号
快適エアリーのゾーン番号を選択します。

(2)ゾーン名称
選択したゾーン番号のゾーン名称を入力します。

(3)系統名称
選択したゾーン番号の各系統名称を入力します。

7.2 登録する

実際にスマートハイムナビのホームページに接続し、情報を登録します。

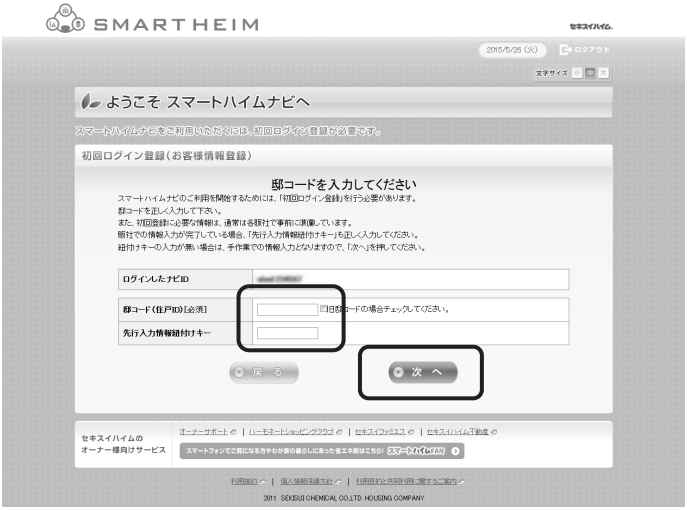
お知らせ

- 本商品に同梱してある「スマートハイムナビ　ご利用にあたって」を用意してください。

1	WWW ブラウザを開き URL を入力する https:// fan.smart-heim.com/ （ｴｲﾁ ﾃｨｰ ﾃｨｰ ﾋﾟｰ **ｴｽ** ｺﾛﾝ ｽﾗｯｼｭ ｽﾗｯｼｭ ｴﾌ ｴｰ ｴﾇ ﾄﾞｯﾄ ｴｽ ｴﾑ ｴｰ ｱｰﾙ ﾃｨｰ ﾊｲﾌﾝ ｴｲﾁ ｲｰ ｱｲ ｴﾑ ﾄﾞｯﾄ ｼｰ ｵｰ ｴﾑ ｽﾗｯｼｭ） （すべて半角小文字）
2	「スマートハイムナビ　ご利用にあたって」に記載されている「ユーザ ID」と「パスワード」を入力し、「ログイン」をクリックする **注 意** - 「スマートハイムナビ　ご利用にあたって」に記載されている「パスワード」は変更することができます。セキュリティ保持のため、初期パスワードは必ず変更を行ってください。また、パスワードの定期的な変更を推奨します。 **Memo** - 次回このページを開くときに「ユーザ ID」と「パスワード」の入力を省きたい場合は「ユーザ ID とパスワードを保存する」にチェックしてください。 - 「スマートハイム FAN」は、スマートハイム・ナビを導入されたお客様に向けて、邸別コンサルティングや、スマートハイム・ナビの活用法をご紹介し、ムリなく光熱費を削減する快適な住まい方をサポートするサービスです。

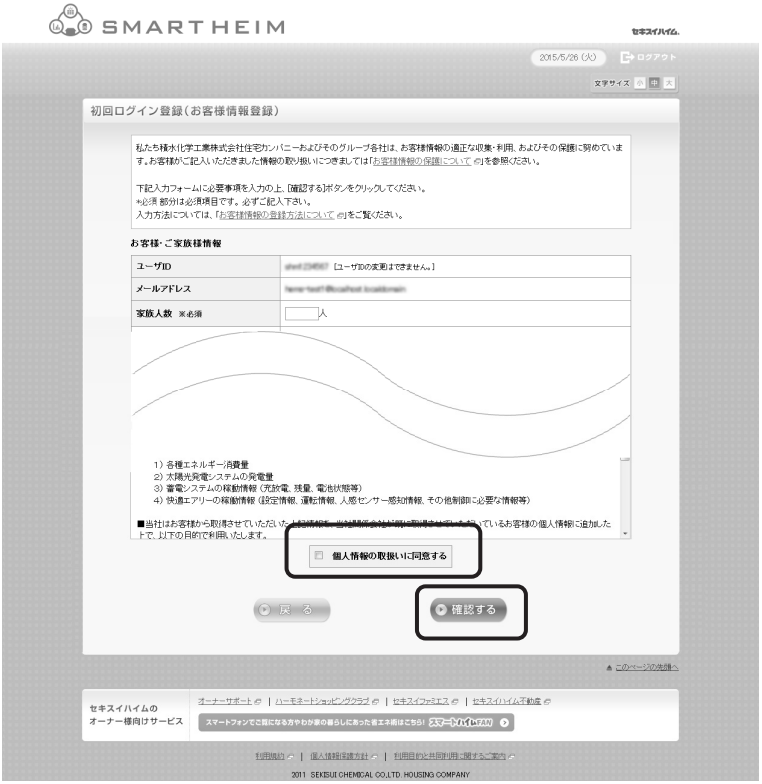
7.2.1 お客様情報の登録をする

1 画面に表示される初回ログイン登録の手順を確認し、「お客様情報の登録を行う」をクリックする

2	「邸コード(住宅 ID)」と「先行入力紐付キー(任意)」を入力し、「次へ」をクリックする Memo ● 先行入力紐付キーとは、「初回ログイン登録」に必要な情報を販売会社で事前に準備している場合に払い出されるキーです。  先行入力紐付キーが入力された場合は手順 3 が、されなかった場合は手順 4 が表示されます。
3	(この画面は、手順 2 で先行入力キーが入力された場合に表示されます。) 「邸コード(住宅 ID)」と「先行入力紐付キー(任意)」等の表示されている情報が正しいことを確認し、「登録する」をクリックする

4	メールアドレスを 2 回入力し、「送信する」をクリックする 入力されたメールアドレスに「確認コード」が記載されたメールが送信されます。
5	メールに記載された確認コードを入力し、「次へ」をクリックする 正しいメールアドレスを登録していただくために、確認コードの入力をお願いいたします。

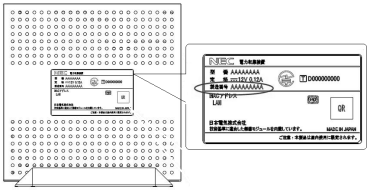
6	画面に従ってお客様情報を入力し、個人情報の取り扱いに同意いただける場合は「個人情報の取扱いに同意する」にチェックしたあと「確認する」をクリックする



7 入力したお客様情報を確認し「登録する」をクリックする

お知らせ

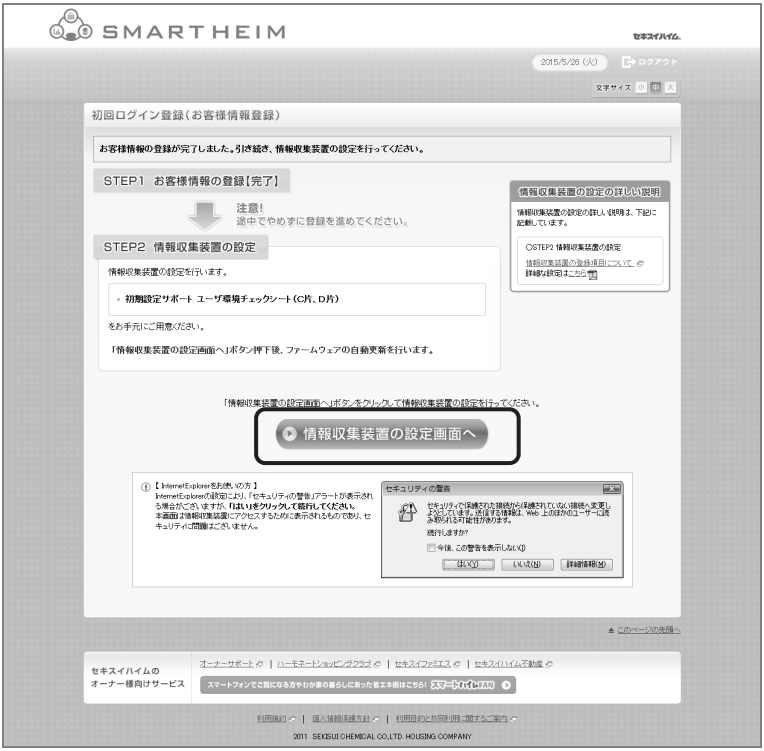
- 情報収集装置の製造番号は、装置本体側面に貼り付けられているシールに記載されています。製造番号は、半角アルファベットまたは数字ではじまる 9 桁の英数字です。



7.2.2 情報収集装置の設定をする

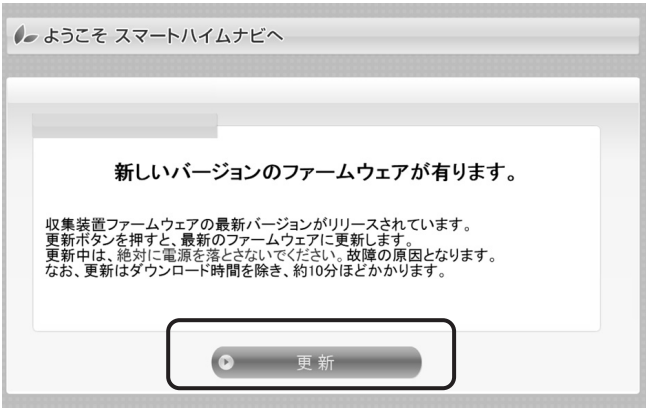
「情報収集装置」の設定をします。

1 画面に表示される手順を確認し「情報収集装置の設定画面へ」をクリックする



お使いの情報収集装置に設定されているファームウェアよりも新しいファームウェアがリリースされていた場合、更新するために手順 2 の画面が表示されます。
最新のファームウェアだった場合、手順 3 の画面が表示されます。

2 （この画面は、新しいファームウェアがリリースされていた場合に表示されます。）
画面表示を確認し、「更新」をクリックする

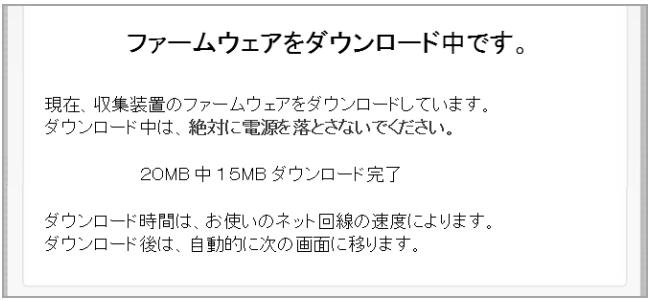


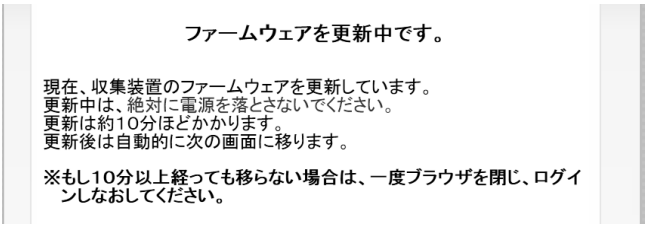
⚠ 注 意

● 更新中は、絶対に電源を落とさないでください。故障の原因になります。

Memo

● クリック後は、自動的にファームウェアをダウンロードし、更新します。
更新後は、自動的に次の画面に移ります。

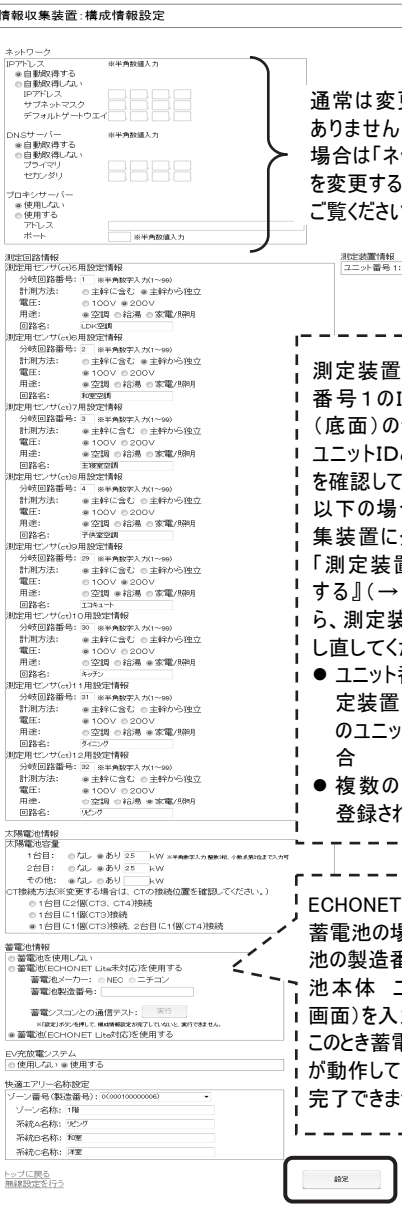




⚠ 注 意

● もしファームウェア更新中の画面に移ってから 10 分以上経っても次の画面に移らない場合は、一度ブラウザを閉じ、ログインしなおしてください。

3 設定や数値を入力し「設定」をクリックする



通常は変更する必要はありませんが、変更する場合は「ネットワーク情報を変更する」(→P.37)をご覧ください。

測定装置情報のユニット番号1のIDが測定装置(底面)のラベルに記載のユニットIDと同じであることを確認してください。
以下の場合は、『情報収集装置に登録されている「測定装置情報」を確認する』(→P.67)を見ながら、測定装置情報を登録し直してください。

- ユニット番号1のIDが測定装置(底面)のラベルのユニットIDと異なる場合
- 複数のユニット番号が登録されている場合

ECHONET Lite 未対応の蓄電池の場合には、蓄電池の製造番号(NEC：蓄電池本体　ニチコン：リモコン画面)を入力してください。
このとき蓄電池コントローラが動作していないと設定が完了できません。

Memo

- 計測方法が「主幹から独立」している場合でも、任意の「分岐回路番号」を設定してください。
- 分岐回路番号に1桁の番号を入力する場合は、先頭に"0"を付けないでください。(例："1を入力する場合、"01"とせず、"1"と入力してください)
- 番号が表示されていない分岐回路番号は 1～99 の間で任意の空いている数字を入力してください。
- 測定回路情報の「回路名」および快適エアリー名称設定の「ゾーン名称」と「系統名称」の入力に、使用できない文字は以下の通りです。
  - Shift-JIS 以外の文字コード
  - 半角英数字、日本語(全角)以外
  - 機種依存文字、特殊記号(半角の「#&=-」を除く)
  - JIS2004 文字(機種依存文字とは、ローマ数字、丸囲み数字、カタカナ表示の単位、単位記号など)
- 構成情報設定は登録後でも変更することができますが、ご不明の場合は販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。

4	以下のようなランプの状態になっているかを確認する 情報収集装置 POW ランプ　点灯 WAN ランプ　点灯 ACT ランプ　点灯 測定装置 電源ランプ　点灯 無線状態表示ランプ　点灯 Memo ● 情報収集装置の「ACT ランプ」の状態が、上記と異なるときは、情報収集装置と測定装置の無線設定があっていない場合があります。トラブルシューティングをご覧になり、それでも解決できない場合は、施工業者にお問い合わせください。なお、測定装置の設定や取り外しには、第二種電気工事士の免許が必要です。 ● 構成情報の設定が完了するまで、情報収集装置から測定装置に対する無線通信は開始されません。このため、測定装置の電源を入れ直した場合、構成情報の設定が完了して自動的に通信が開始されるまでの間、測定装置の無線状態表示ランプは、消灯となります。
5	「トップに戻る」をクリックする

続いて目標値設定画面が表示されますので、設定を行います。

7.2.3 目標値を設定する

1 「次へ」をクリックする

7.2.4 任意 ID を設定する

1 「My ログイン ID(任意)」や「パスワード変更(任意)」、「ニックネーム(任意)」を入力し、各項目の変更ボタンをクリックする

以上で「初回ログイン登録」は完了です。

7.2.5 ネットワーク情報を変更する

情報収集装置を固定 IP アドレスでご使用する場合は、下記の手順にて設定を行ってください。
（通常は IP アドレス等を自動取得する DHCP モードでの使用を推奨しています。また、すでに本商品をご使用の場合は、ネットワーク情報を変更する必要はありません。）

⚠ 注 意

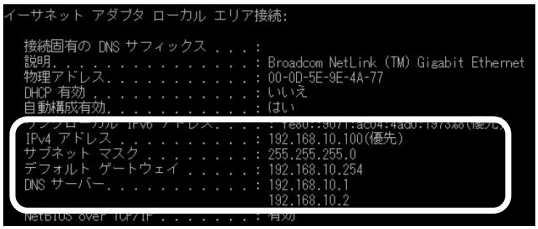
- 固定 IP アドレスの設定には、LAN ケーブル（クロスケーブル）または HUB が必要となります。あらかじめ用意してください。（本商品に添付されている LAN ケーブルはストレートケーブルです。）

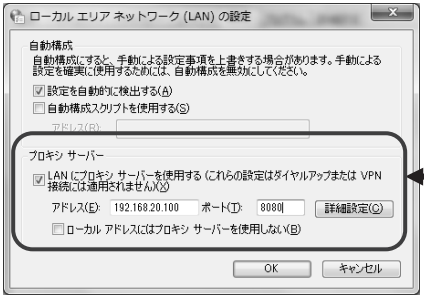
作業の流れ

①お客様パソコン環境の確認
↓
②情報収集装置のネットワーク設定を決める
↓
③情報収集装置の IP アドレスを設定する
↓
④お客様ネットワークへの設置

①お客様パソコン環境の確認

お客様のパソコンで操作してください。固定 IP アドレスをご使用にならず、プロキシサーバーのみご使用になる場合は、手順 3 に進んでください。

1	コマンドプロンプト → IPConfig /all を実行する
2	「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「DNS サーバー1」「DNS サーバー2」の数値をメモする  Memo ● IP アドレス等の数値は、②情報収集装置のネットワーク設定を決める にて必要となりますので、必ずメモをとってください。
	上記例の場合、 IP アドレス :192.168.10.100 サブネットマスク :255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ :192.168.10.254 DNS サーバー1 :192.168.10.1 DNS サーバー2 :192.168.10.2 （DNS サーバー2 は無な場合があります。） プロキシサーバーをご使用にならない場合は、②情報収集装置のネットワーク設定を決める に進んでください。
3	プロキシサーバーの使用有無を確認する 「スタート」 → 「すべてのプログラム」 → 「アクセサリ」 → 「ファイル名を指定して実行」を選択する
4	名前の欄に「control inetcpl.cpl」と入力し、「OK」をクリックする

5	「インターネットのプロパティ」の「接続」タブをクリックし、「LAN の設定（L）」をクリックする
6	「ローカルエリアネットワーク（LAN）の設定」の「プロキシサーバー」の欄の「アドレス」と「ポート」の数値をメモする 空欄の場合、またはチェックが外れている場合は、プロキシサーバーを使用していません。  Memo ● 「アドレス」「ポート」の数値は、②情報収集装置のネットワーク設定を決める にて必要になりますので、必ずメモをとってください。 左記例では プロキシサーバー　:192.168.20.100 ポート　　:8080

②情報収集装置のネットワーク設定を決める

①お客様パソコン環境の確認 の手順 2、手順 6 にてメモをとった内容をもとに、情報収集装置のネットワーク設定を決めます。
決めた設定は、③情報収集装置の IP アドレスを設定する の手順 14 にて使用します。

●固定 IP アドレスをご使用になる場合

IP アドレス	:192.168.10.150
サブネットマスク	:255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	:192.168.10.254
DNS サーバー1	:192.168.10.1
DNS サーバー2	:192.168.10.2

お客様が家庭内ネットワークで使用している IP アドレスと重複しない IP アドレスを設定します。それ以外の設定はお客様のパソコンと同じ設定とします。
この例では、パソコンの IP アドレスは 192.168.10.100 です。情報収集装置の固定IPアドレスはパソコンの IP アドレスと重複しないように 192.168.10.150 としています。

DNS サーバーが 1 台しか存在しない場合は、「DNS サーバー2」に「DNS サーバー1」と同じ値を入力してください。

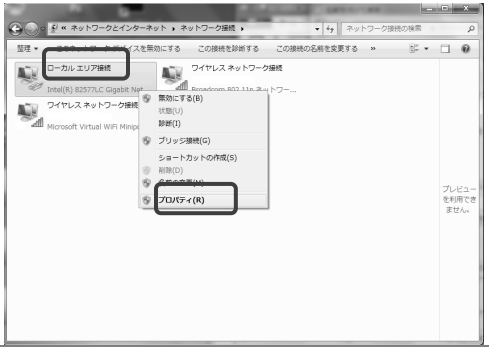
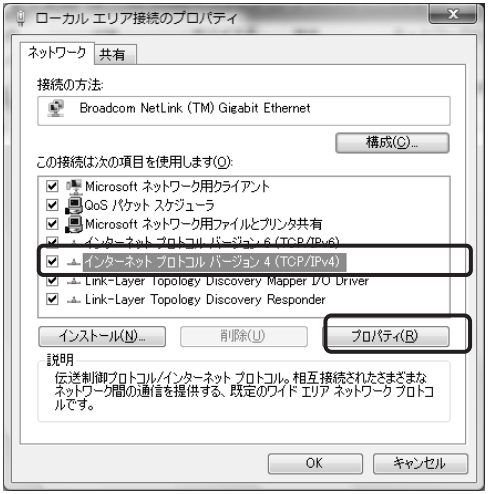
●プロキシサーバーをご使用になる場合

プロキシサーバー	:192.168.20.100
ポート	:8080

③情報収集装置の IP アドレスを設定する

一旦、お客様のパソコンのネットワーク設定を変更してから、情報収集装置の IP アドレスを設定します。

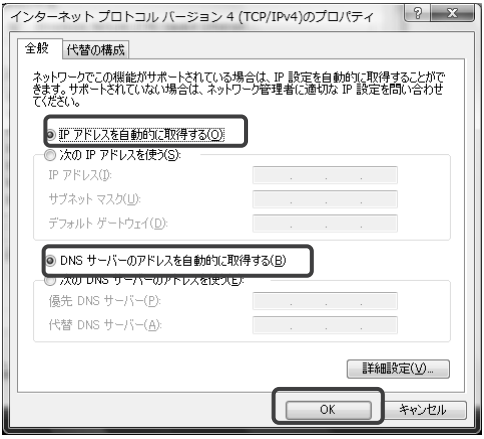
1	「スタート」→「コントロールパネル」をクリックする
2	「ネットワークと共有センター」をクリックする Windows7 で「ネットワークと共有センター」が表示されない場合は、「ネットワークとインターネット」をクリックする
3	「アダプターの設定の変更」をクリックする Windows Vista の場合は、「ネットワーク接続の管理」をクリックする

4	「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックして、「プロパティ」をクリックする 
5	「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、「続行」をクリックする
6	「インターネットプロトコルバージョン 4(TCP/IPv4)」を選択して、「プロパティ」をクリックする 

7 「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」に設定する

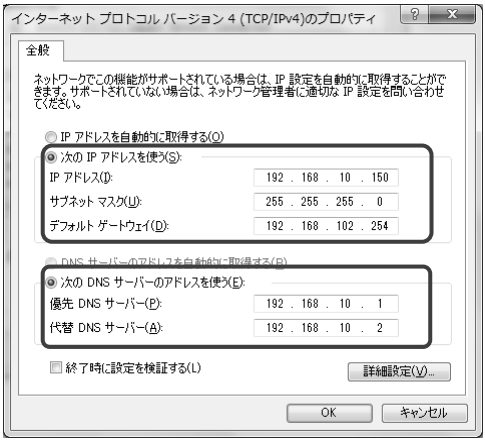
●「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」が選択されている場合

「OK」をクリックする



●「次の IP アドレスを使う」および「次の DNS サーバーのアドレスを使う」が選択されている場合

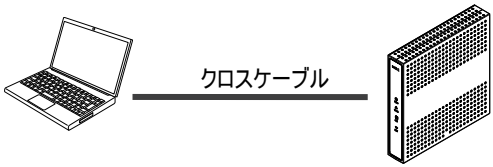
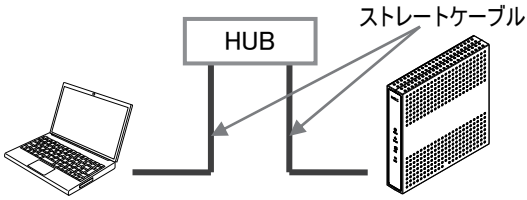
1. 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先 DNS サーバー」「代替 DNS サーバー」の数値をメモする

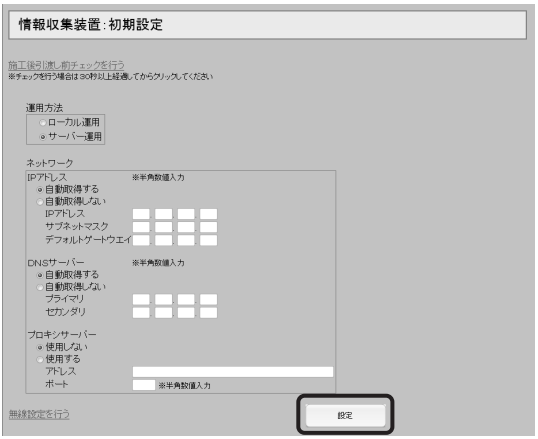


Memo

● 「IP アドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」「優先 DNS サーバー」「代替 DNS サーバー」の数値は、③情報収集装置の IP アドレスを設定する の手順 14 にて必要になりますので、必ずメモをとってください。

2. 「IP アドレスを自動的に取得する」および「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選択し、「OK」をクリックする。

8	お客様のパソコンと情報収集装置を、以下の（A）または（B）どちらかの方法で接続する （A）HUB がない場合  （B）HUB がある場合 
9	情報収集装置の電源を入れ、約 50 秒間待機し、装置のランプが以下の（C）または（D）どちらかになっていることを確認する （C）は初期化されている場合、（D）はペアリングされている場合です。 （C） POW ランプ：速い点滅（点滅周期：0.5 秒） WAN ランプ：消灯 （D） POW ランプ：点灯 WAN ランプ：点滅
10	情報収集装置背面のリセットボタンを長押し（1 秒～10 秒未満）したあと、ボタンを放す 3 秒以内に再度リセットボタンを短押し（1 秒未満）する

11	ランプが下記の状態になっているかどうか確認する POW ランプ　　：遅い点滅（点滅周期：1 秒） WAN ランプ　　：消灯 ACT ランプ　　：消灯
12	コマンドプロンプトから IPConfig を実行する IPV4 アドレスが、「192.168.0.xxx （xxx は 100～）」となっていることを確認する
13	パソコンの WWW ブラウザ（Internet Explorer など）を起動し、下記の URL を入力する http://192.168.0.1
14	「情報収集装置：初期設定画面」が表示されたら、IP アドレス等を入力し「設定」をクリックする  ●固定 IP アドレスをご使用になる場合 ・「IP アドレス」を「自動取得する」から「自動取得しない」に変更する ②情報収集装置のネットワーク設定を決める にて決定した値を入力する IP アドレス　　：192.168.10.150 サブネットマスク　　：255.255.255.0 デフォルトゲートウェイ　：192.168.10.254

・「DNS サーバー」の「プライマリ」と「セカンダリ」に②情報収集装置のネットワーク設定を決める にて決定した値を入力する

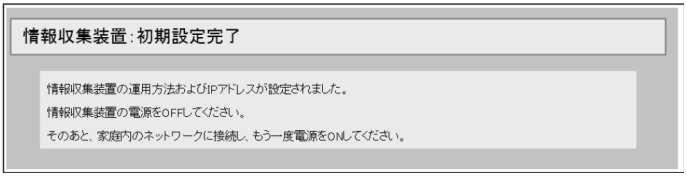
DNS サーバー1　　:192.168.10.1
DNS サーバー2　　:192.168.10.2

Memo
「DNS サーバー」は「自動取得しない」になります。

●プロキシサーバーをご使用になる場合
・プロキシサーバーを「使用しない」から「使用する」に変更し、「プロキシサーバー」の「アドレス」と「ポート」を入力する

プロキシサーバー　　:192.168.20.100
ポート　　:8080

15 「初期設定完了」のメッセージが出たことを確認する



16 情報収集装置の電源を切る

17 ③情報収集装置の IP アドレスを設定する の手順 7 でお客様のパソコンのネットワーク設定を変更した場合は、メモした変更前の設定に戻す

④お客様ネットワークへの設置

1 「情報収集装置を設置する」(→P.16)に従って、情報収集装置を接続し電源を入れる

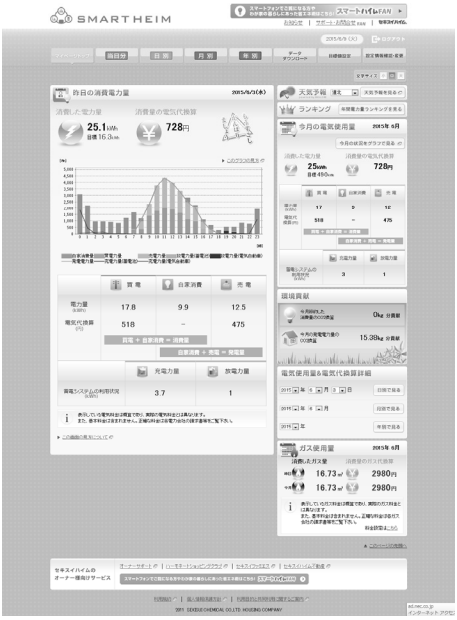
情報収集装置の起動完了は、電源を入れてから約 50 秒間かかります。再起動後に初期設定情報が登録できるようになります。

8　日々のご利用について

日々のご利用の様子は専用サイトで見ることができます。

⚠ 注 意

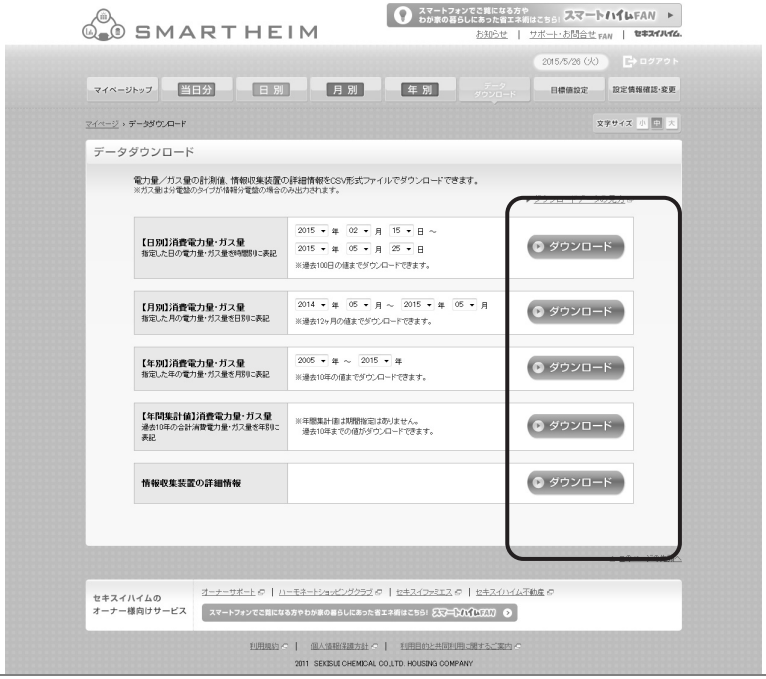
- 月間の使用電気量の目標値を設定していない場合、目標値設定画面（→P.48）が表示されます。目標値を設定後、再度マイページトップにアクセスしてください。
- 下の図のようにグラフが表示されるのは、HEMS サービスに当日の電力量が送信され、処理が行われてからですので、登録翌日の朝になります。それまでは当日電力量がないためエラーが表示されますが故障ではありません。



名称		説明
1	マイページトップ	昨日の消費電力量、天気予報、今月の電気使用量などいろいろな情報がご覧になれます
2	当日分	今現在の消費電力量（瞬間値）、現在までの電力量と発電電力量、現在までの専用機器別・部屋別の消費電力量がご覧になれます
3	日別	日ごとの電力量と電気代換算のグラフ、日ごとの用機器別・部屋別の消費電力量のグラフがご覧になれます
4	月別	月ごとの電力量と電気代換算のグラフ、月ごとの用機器別・部屋別の消費電力量のグラフがご覧になれます
5	年別	年ごとの電力量と電気代換算のグラフ、年ごとの用機器別・部屋別の消費電力量のグラフがご覧になれます
6	データダウンロード	各種電力量の計測値を CSV 形式のファイルでダウンロードできます
7	目標値設定	月間の使用電気量の目標値を設定できます
8	設定情報確認・変更	初回ログイン登録の際に行った設定情報の確認・変更ができます

8.1 データダウンロード

電力量の計測値を CSV 形式ファイルでダウンロードできます。

1	「データダウンロード」をクリックする
2	ダウンロードしたいデータの期間を設定し、ダウンロードしたい項目の「ダウンロード」をクリックする 
3	画面に従い、データをダウンロードします。

8.2 目標値設定

月間ごとに使用電気量の目標値を一年分設定します。昨年の電気使用量明細などを見て、目標値を設定してください。

⚠ 注 意

- 月間の使用電気量の目標値の設定を行わないと、目標値設定入力画面へ遷移するため、マイページトップが正しく表示されません。0 以外の任意の値を設定してください。

1 「目標値設定」をクリックする

2 月間の目標電気使用量を入力し「変更する」をクリックする

	前年同期	今年目標
1月	578.42 kWh	kWh
2月	585.35 kWh	kWh
3月	580.65 kWh	kWh
4月	530.32 kWh	kWh
5月	498.35 kWh	kWh
6月	479.74 kWh	kWh
7月	478.67 kWh	kWh
8月	496.63 kWh	kWh
9月	489.52 kWh	kWh
10月	476.98 kWh	kWh
11月	528.37 kWh	kWh
12月	506.27 kWh	kWh

3	「目標値の変更が完了しました。」のメッセージが出たことを確認する

目標値設定

目標値の変更が完了しました。

	今年設定
1月	450.15 kWh
2月	460.25 kWh
3月	430.35 kWh
4月	420.45 kWh
5月	390.55 kWh
6月	400.05 kWh
7月	400.00 kWh
8月	420.55 kWh
9月	400.35 kWh
10月	380.70 kWh
11月	400.35 kWh
12月	440.55 kWh

▶ マイページトップへ戻る

8.3 設定情報の確認・変更

8.3.1 メールアドレスを確認する・変更する

1 「設定情報確認・変更」をクリックする

2 「メールアドレスを確認する・変更する」をクリックする

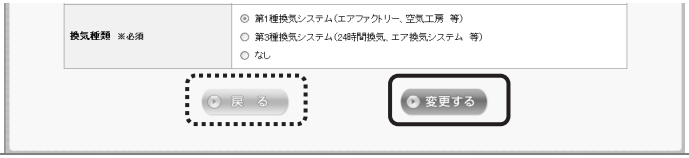
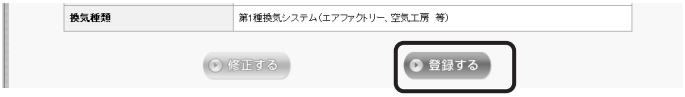
3 ログインパスワードを入力し「ログインする」をクリックする

4	メールアドレスを確認し「戻る」をクリックする 変更するときは、変更するメールアドレスを 2 回入力し、「送信」をクリックする 入力されたメールアドレスに「確認コード」が記載されたメールが送信されます。
5	メールに記載された確認コードを入力し、「変更する」をクリックする 正しいメールアドレスを登録していただくために、確認コードの入力をお願いいたします。

6	メールアドレスの確認・変更完了画面が表示される

8.3.2 お客様の登録情報を確認する・変更する

1	「設定情報確認・変更」をクリックする
2	「お客様の登録情報を確認する・変更する」をクリックする

3	ログインパスワードを入力し「ログインする」をクリックする
4	設定や数値を確認し「戻る」をクリックする 変更するときは「変更する」をクリックする 
5	内容を確認し「登録する」をクリックする 
6	「登録情報の設定が完了しました。」のメッセージが出たことを確認する

8.3.3 ログインパスワードを確認する・変更する

1	「設定情報確認・変更」をクリックする

2	「ログインパスワード、任意 ID を確認する・変更する」をクリックする
3	パスワードを入力し「ログインする」をクリックする
4	変更後のパスワードを 2 回入力し、「変更する」をクリックする

5	「パスワードを更新しました。」のメッセージが出たことを確認する

8.3.4 設定されている電気料金の内容を確認する

1	「設定情報確認・変更」をクリックする
2	「設定されている電気料金の内容を確認する」をクリックする

3	ログインパスワードを入力し「ログインする」をクリックする
4	「設定電気料金内容表示」が表示されたことを確認する 設定を変更する場合はこちらをクリックしてください。

Memo

- 電気料金単価の変更は、翌月から反映されます。

8.3.5 設定されているガス料金の内容を確認する・変更する

Memo

- ガス料金の設定は、情報分電盤をお使いで、ガス使用量の計測を行っている場合のみ表示されます。
- ガス料金単価の変更は、翌月から反映されます。

1 「設定情報確認・変更」をクリックする

2 「設定されている電気料金の内容を確認する」をクリックする

3 現在のガス料金単価を確認し「戻る」をクリックする
変更するときは、単価を入力し「変更する」をクリックする

4	「ガス料金単価の設定が完了しました。」のメッセージが出たことを確認する

8.3.6 情報収集装置の設定内容を確認する

1	「設定情報確認・変更」をクリックする
2	「情報収集装置の設定内容を確認する」をクリックする

3	ログインパスワードを入力し「ログインする」をクリックする
4	「情報収集装置の詳細情報」が表示されたことを確認する

8.3.7 情報収集装置の設定を変更する

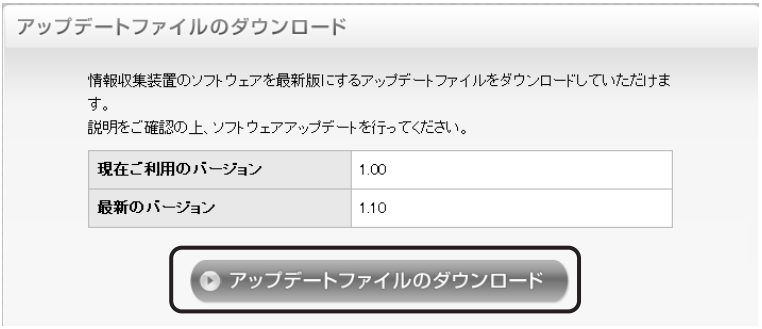
1	「設定情報確認・変更」をクリックする
2	「情報収集装置の設定を変更する（情報収集装置の設定画面へ）」をクリックする 以降の手順は「情報収集装置の設定をする」（→P.32）と同じです。

9　ファームウェアの更新

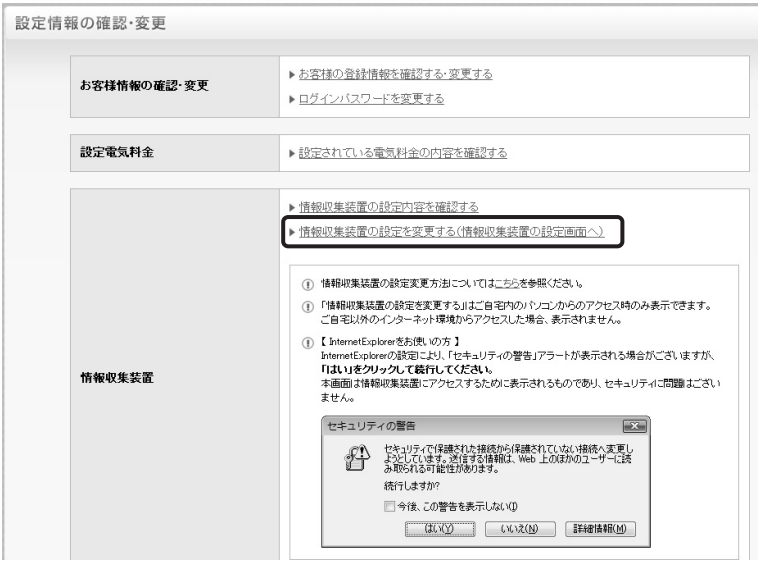
情報収集装置のファームウェア更新の手順を説明します。
ファームウェアのバージョンアップ情報がある場合は、マイページトップにバージョンアップ情報が自動的に告知されます。画面の指示に従って、本商品のバージョンアップを行ってください。

STOP お願い

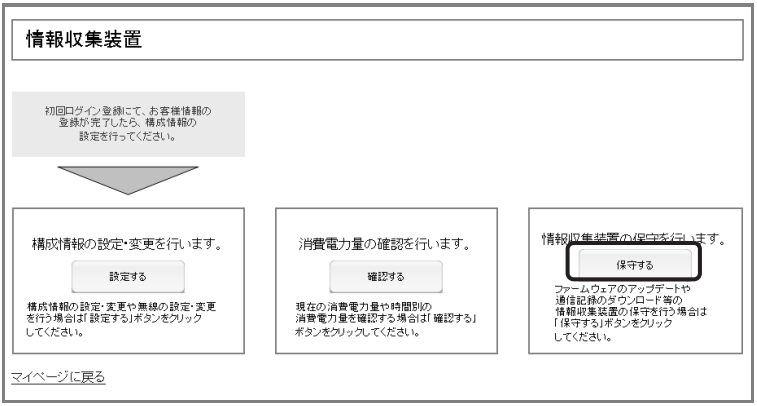
- ファームウェアのバージョンアップ中は絶対に情報収集装置の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使って更新を行うことはできません。無理に更新を行うと、本商品が動作しなくなります。
- ファームウェアの更新を開始する前に、パソコンのすべてのアプリケーションと、通知領域（タスクトレイ）などに常駐しているアプリケーションを終了させてください。

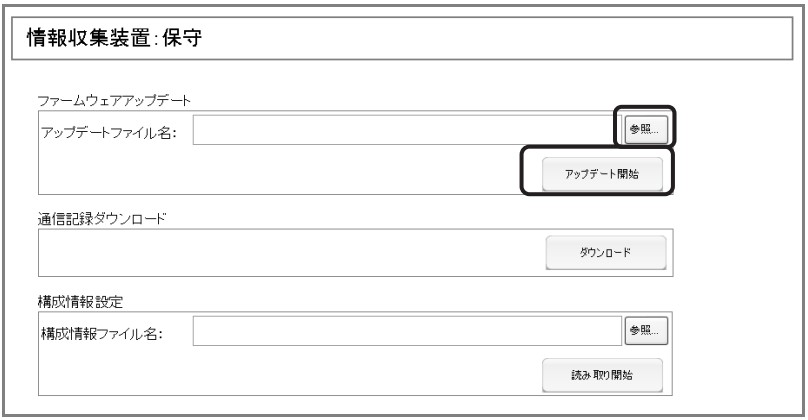
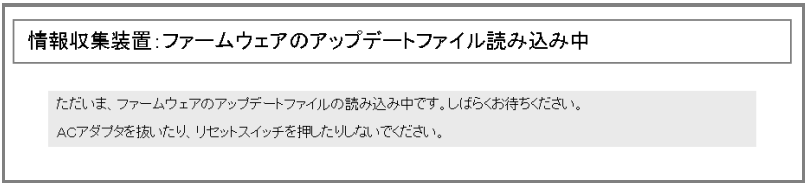
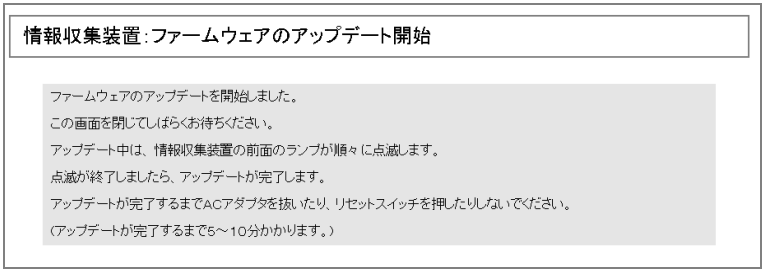
1	「最新のファームウェアがあります」をクリックする
2	「アップデートファイルのダウンロード」をクリックする  ※ 上の絵にあるバージョンは一例です。実際とは異なる場合があります。
3	「アップデートファイルのダウンロード」をクリックし、画面に従いデータをパソコンの任意の場所にダウンロードする
4	マイページトップの「設定情報確認・変更」をクリックする

5 「情報収集装置の設定を変更する（情報収集装置の設定画面へ）」をクリックする



6 「情報収集装置の保守を行います。」の「保守する」をクリックする

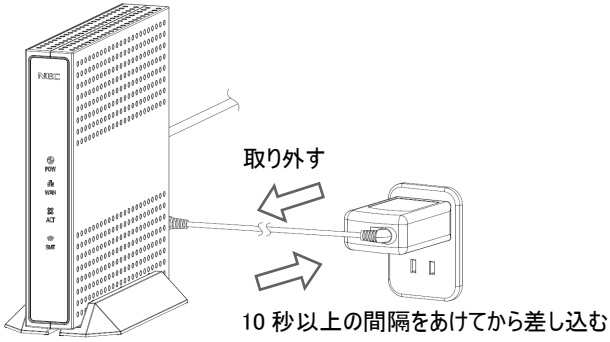
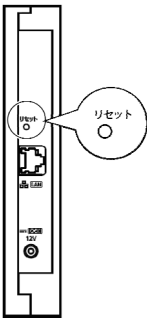


7	「参照」をクリックし、手順 3 で保存したアップデートファイルの保存先を指定し「アップデート開始」をクリックする 
8	「ファームウェアのアップデートファイル読み込み中」のメッセージが表示されたことを確認する 
9	「ファームウェアのアップデート開始」のメッセージが表示されたことを確認する  「ファームウェアのアップデートを開始しました。この画面を閉じてしばらくお待ちください。」とパソコンに表示されます。 ブラウザを閉じてしばらくお待ちください。 アップデート中は、情報収集装置の前面のランプが順々に点滅します。 点滅が終了したら、アップデートは完了です。アップデートが完了するまで 5～10 分かかります。 アップデートが完了するまで AC アダプタを抜いたり、リセットボタンを押したりしないでください。

10 初期化をする

情報収集装置に設定した内容を消去して初期化をします。
初期化したあとでお使いいただくためには、ペアリング※1 も行ってください。

※1. 工場出荷時、同梱の情報収集装置と測定装置は、無線の通信ができるようにペアリングがされています。

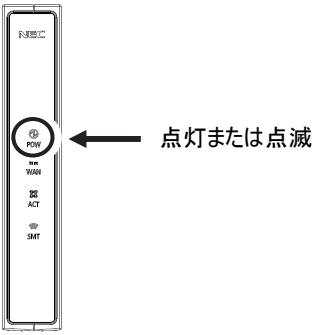
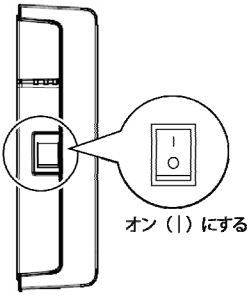
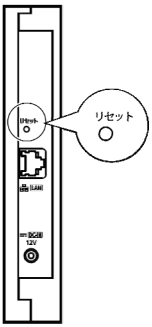
1	情報収集装置の AC アダプタをコンセントから取り外し、一旦電源を切る 10 秒以上の間隔をあけてから AC アダプタを差し込み、再起動させる 
2	電源が入った状態で約 50 秒間待ったあと、リセットボタンをボールペンの先などで 10 秒以上長押しする 
3	一度、リセットボタンからペン先などを離し、3 秒以内に再度リセットボタンをペン先などで 1 秒未満（軽くタッチする程度）押す POW ランプが速い点滅（点滅周期：0.5 秒）をはじめます
4	情報収集装置の AC アダプタをコンセントから取り外し、一旦電源を切る 10 秒以上の間隔をあけてから AC アダプタを差し込み、再起動させる

お知らせ

- 初回ログイン登録がされていないときは、「初回ログイン登録」を行ってください。
  初回ログイン登録がされていたときは、「構成情報を復旧する」（→P.72）に進んでください。

11 情報収集装置と測定装置のペアリングを行う

情報収集装置と測定装置の無線の設定を行い、通信ができるようにします。

1	情報収集装置の起動が完了していることを確認します。 ※ 情報収集装置の起動完了は、電源を入れてから約 50 秒間（POWランプは、点灯状態）かかります。起動が完了すると POW ランプが一旦、消灯して以下の状態になります。 点滅 ： 初期化状態の場合 点灯 ： ペアリング済みまたは構成情報を登録している場合 ※ ペアリングは、情報収集装置の起動が完了してから行ってください。	
2	測定装置の電源を入れる ※ 測定装置は、電源を入れてから最大約 2 分間は、ペアリング待ちの状態になります。ペアリング待ちの間は、測定装置の電源ランプは点滅状態になります。	
3	測定装置の電源を入れてから 2 分以内に、情報収集装置のリセットボタンをボールペンの先などで 1 秒未満（軽くタッチする程度）押す ※ 情報収集装置のリセットボタン操作は、情報収集装置の起動が完了してから行ってください。情報収集装置の起動が完了していることの確認は、手順 1 を参照してください。 シャープペンは使用しないでください。芯が折れ、情報収集装置内部でショートする可能性があります。	

4	ペアリング動作に入ります。

情報収集装置	
POW ランプ	点滅（点滅周期：1 秒） ※1
WAN ランプ	点滅（点滅周期：1 秒） ※1
測定装置	
電源ランプ	点滅（点滅周期：1 秒） ※1

※1. 点滅（点滅周期：1 秒）：0.5 秒点灯→0.5 秒消灯の繰り返し

5 約 3 分後、ペアリング動作が終了します。以下のようなランプの状態になっているかを確認してください。

情報収集装置	
POW ランプ	点灯
WAN ランプ	点灯または点滅※2
ACT ランプ	点灯
測定装置	
電源ランプ	点灯
無線状態表示ランプ	点灯

※2. インターネットに接続できていない場合は、点滅となります。

Memo

- ペアリング終了後の情報収集装置の「ACT ランプ」の状態が、上記と異なるときは、情報収集装置と測定装置の無線設定があっていない場合があります。トラブルシューティングをご覧になり、それでも解決できない場合は、施工業者にお問い合わせください。
  なお、測定装置の設定や取り外しには、第二種電気工事士の免許が必要です。
- ペアリング動作終了後、構成情報の設定が完了するまで、情報収集装置から測定装置に対する無線通信は開始されません。このため、ペアリング動作終了後、測定装置の電源を入れ直した場合、構成情報の設定が完了して自動的に通信が開始されるまでの間、測定装置の電源ランプは、消灯となります。

11.1 情報収集装置に登録されている「測定装置情報」を確認する

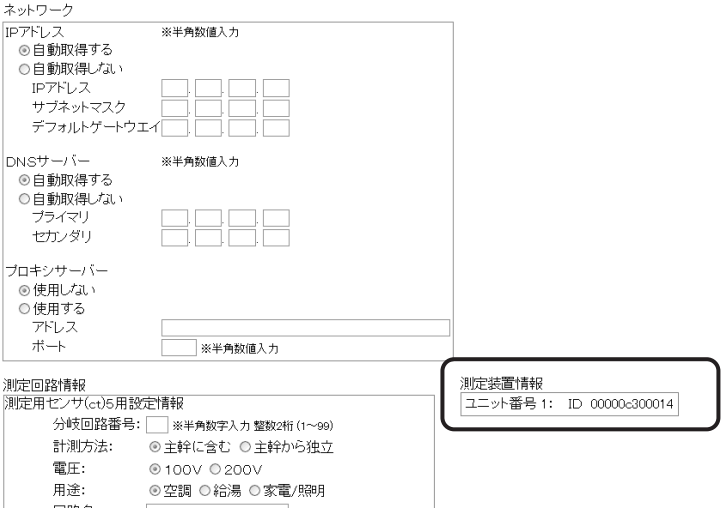
ペアリングにより、情報収集装置に「測定装置情報」が登録されました。正しく登録されたかどうかを確認します。

1 「設定情報確認・変更」をクリックする

2 「情報収集装置の設定を変更する（情報収集装置の設定画面へ）」をクリックする

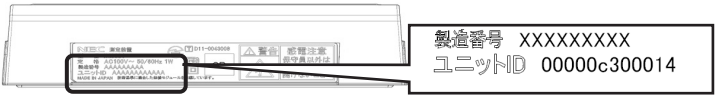
3 測定装置情報の「ユニット番号１」に表示されているIDが、測定装置（底面）のラベルに記載されている「ユニットID」と同じであることを確認する

情報収集装置：構成情報設定



Memo

- 測定装置の「ユニット ID」記載箇所
  測定装置（底面）のラベルに「ユニット ID」が記載されています。なお「ユニット ID」は、商品ごとに異なります。



情報収集装置に登録できるのは「ユニット番号 1」に登録された 1 台のみです。

「ユニット ID」が同じになっていれば、確認は完了です。

以下の場合は、情報収集装置に登録されている「測定装置情報」を消去する必要があります。
手順 4 に進んでください。
以下に該当しない場合は、手順 4, 5 は不要です。

- 測定装置情報の「ユニット番号 1」に表示されている ID と測定装置（底面）のラベルに記載されている「ユニット ID」が異なる場合
- 測定装置情報に複数の「ユニット番号」が登録されている場合

4 画面一番下の「無線設定を行う」をクリックする

5 測定装置接続情報消去の「消去」をクリックする

- 測定装置情報の「ユニット番号 1」の ID が、測定装置（底面）のラベルに記載されている「ユニット ID」と同じだが、複数のユニット番号が登録されている場合

↓

「ユニット番号 2」以降のすべての「消去」をクリックする

↓

- 測定装置情報の「ユニット番号 1」に表示されているIDと、測定装置（底面）のラベルに記載されている「ユニット ID」が異なる場合

↓

登録されているすべてのユニット番号の「消去」をクリックする

↓

確認が完了しました。

↓

情報収集装置と測定装置のペアリングを行う

ペアリング方法は、「情報収集装置と測定装置のペアリングを行う」（→P.65）を参照してください。

12 情報収集装置の無線設定を変更する

本設定は、特殊な場合以外、変更は必要ありません。

⚠ 注 意

- 情報収集装置と測定装置の無線の設定はペアリングがされています。
  情報収集装置と測定装置の無線チャンネルの設定が異なると通信できません。設定を変更する場合は、測定装置の設定とあわせて変更し、再度ペアリングを行ってください。（→P.65）
- 測定装置の設定や取り外しは感電するおそれがあります。お客様による操作は絶対におやめください。操作が必要な場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。

情報収集装置の無線設定をします。

1 「設定情報確認・変更」をクリックする

2 「情報収集装置の設定を変更する（情報収集装置の設定画面へ）」をクリックする

3 画面一番下の「無線設定を行う」をクリックする

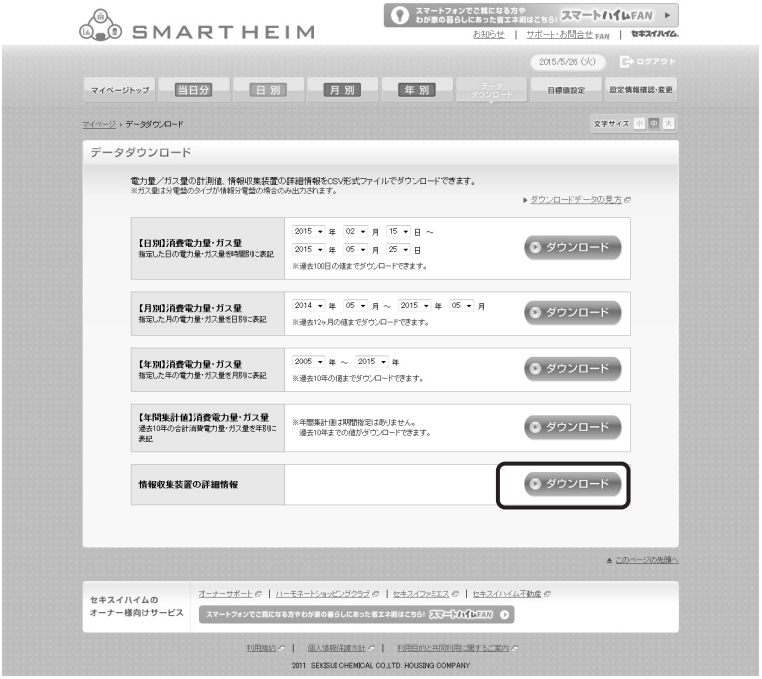
4	値を設定し「設定」をクリックする
5	「設定完了」のメッセージが出たことを確認する

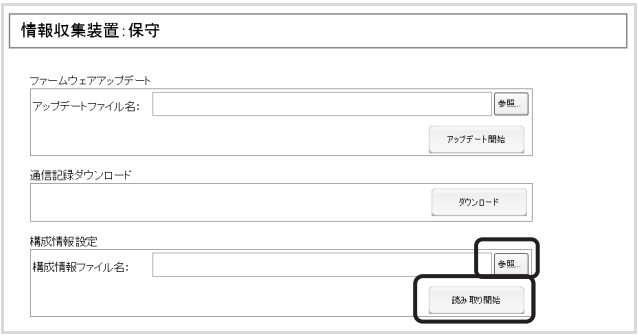
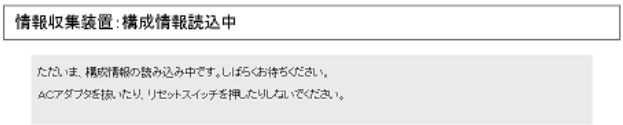
13 構成情報を復旧する

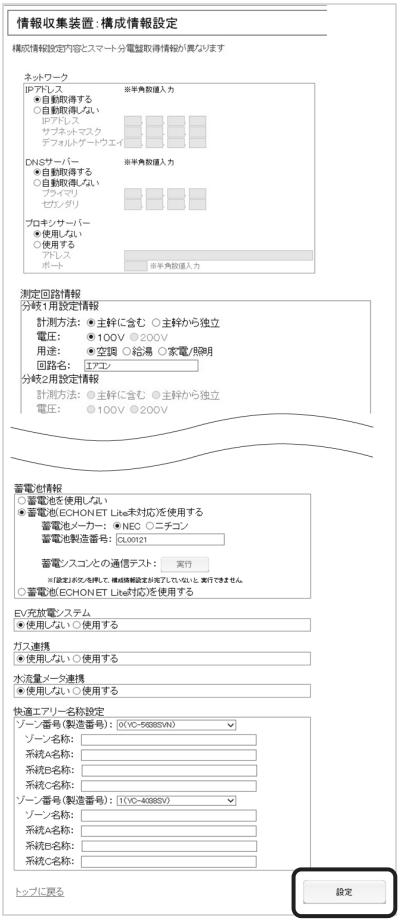
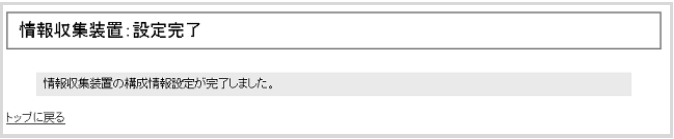
情報収集装置の構成情報復旧の手順を説明します。
情報収集装置は、リセットボタンで初期化したときや修理から戻ってきた場合には、工場出荷時の状態に戻ります。この場合、構成情報を再設定する必要がありますが、情報収集装置の設定を行ったことがある場合には、構成情報の設定内容を復旧することができます。

注 意

- 測定装置とのペアリングや無線設定は復旧できませんので、本手順の前に実施しておいてください。

1	「データダウンロード」をクリックする
2	「情報収集装置の詳細情報」の「ダウンロード」をクリックし、画面に従いデータをパソコンの任意の場所にダウンロードする 

3	マイページトップの「設定情報確認・変更」をクリックする
4	「情報収集装置の設定を変更する(情報収集装置の設定画面へ)」をクリックする
5	「参照」をクリックし、手順 2 で保存した情報収集装置の詳細情報ファイルの保存先を指定し「読み取り開始」をクリックする  

6	情報収集装置の設定画面が表示され、復旧された設定値や設定内容を確認したあと「設定」をクリックする 
7	「設定完了」のメッセージが出たことを確認する 

14 トラブルシューティング

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずこちらをご覧ください。

14.1 設置に関するトラブル

こんなときには	原因と対策	参照ページ
情報収集装置 前面の POW ランプと WAN ランプが速い点滅（点滅周期：0.5 秒）を繰り返している 測定装置 前面の電源ランプが速い点滅（点滅周期：0.5 秒）を繰り返している	ペアリングに失敗しています。情報収集装置と測定装置の電源を切り、電源を入れ直してから、もう一度ペアリングを行ってください。 電波環境が不安定になっていることがあります。次の対策を試してみてください。 • 情報収集装置を測定装置が見通せる場所に移動する • 情報収集装置と測定装置の間の障害物を取り除き、見通せる状態にする • 情報収集装置と測定装置間の距離を縮める 上記を試しても改善しない場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。	P.16 P.18 P.65
情報収集装置 前面の WAN ランプが遅い点滅（点滅周期：1 秒）を繰り返している	インターネットが使える環境になっていません。情報収集装置とルータの接続を確認してください。	P.16
情報収集装置 前面のACTランプが遅い点滅（点滅周期：1 秒）を繰り返している	測定装置との接続に失敗しています。測定装置の電源ランプが点灯しているかどうか確認してください。 測定装置の電源ランプが点灯しているにもかかわらず、ACTランプが遅い点滅を繰り返す場合は、電波環境が不安定になっていることがあります。次の対策を試してみてください。 • 情報収集装置を測定装置が見通せる場所に移動する • 情報収集装置と測定装置の間の障害物を取り除き、見通せる状態にする • 情報収集装置と測定装置間の距離を縮める 上記を試しても改善しない場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。	P.16 P.18 P.65
測定装置 前面の無線状態表示ランプが遅い点滅（点滅周期：1 秒）を繰り返している	情報収集装置との接続に失敗しています。情報収集装置の電源ランプが点灯しているかどうか確認してください。情報収集装置の電源ランプが点灯しているにもかかわらず、無線状態表示ランプが遅い点滅を繰り返す場合は、電波環境が不安定になっていることがあります。次の対策を試してみてください。 • 情報収集装置を測定装置が見通せる場所に移動する • 情報収集装置と測定装置の間の障害物を取り除き、見通せる状態にする • 情報収集装置と測定装置間の距離を縮める 上記を試しても改善しない場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。	P.16 P.18 P.65

無線通信ができない、または不安定になっている（無線状態ランプが頻繁に点滅する）	使用環境によって、通信不能または通信不安定な状態になることがあります。次の対策を試してみてください。 • 情報収集装置を測定装置が見通せる場所に移動する • 情報収集装置と測定装置の間の障害物を取り除き、見通せる状態にする • 情報収集装置と測定装置間の距離を縮める	P.16
宅内 LAN 環境に複数のルータを使用している場合には、どのルータに接続すればいいですか？	パソコンが接続されたルータと同じルータに情報収集装置を接続してください。 蓄電池の状態を見る場合は、パソコンと情報収集装置の両方とも、蓄電池コントローラ(シスコンまたはリモコン)を接続しているルータに接続してください。	P.16
設置している ECHONET Lite 機器との通信が途切れてしまう	お使いのルータの性能によっては連携機器との通信が不安定になる場合があります。 次の対策を試してみてください。 • お使いのルータを交換する • お使いのルータにHUBを利用し、HUBの配下に連携している ECHONET Lite 機器と情報収集装置を設置する	ー

該当項目がない場合や、対処をしても問題が解決しない場合は、マイページトップの「サポート」の「よくあるご質問について」をご覧ください。

マイページトップの「サポート・お問合せ」をクリックする

「よくあるご質問について」の「よくあるご質問を見る」をクリックする

14.2ご利用開始後の Q&A

こんなときには	原因と対策	参照ページ
測定装置を取り外したいのですが	分電盤のそばに取り付けられる測定装置は、分電盤と同じ取り扱いとなるため、取り外しや分解には、第二種電気工事士の免許が必要です。 免許をお持ちで無いかた、絶対に測定装置に触れないでください。取り外しや分解が必要な場合は、販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。	P.75
停電が起きるとどうなりますか？	停電が発生している時間帯のデータは集計されません。 停電が発生している時間帯以外のデータは、一日に一回、深夜にデータセンターへ自動的に送信します。	ー
妨害電波は出ていますか？	VCCI クラス B を取得しておりますので、一般家庭でのご使用では問題ありません。	P.79 P.82
引っ越しのときに端末を持っていきたいのですが	測定装置の取り外しには第二種電気工事士の免許が必要となります。取り外しの際には販売会社またはアフターサービス担当にお問い合わせください。	ー

15 製品仕様

15.1 情報収集装置

項目		諸元および機能	
LAN インターフェース	物理インターフェース	8 ピンモジュラージャック（RJ-45）　×1	
	インターフェース	IEEE802.3　100BASE-TX/10BASE-T	
	伝送速度	100Mbps/10Mbps	
無線インターフェース	測定装置との通信（特定小電力無線）	周波数帯域/チャンネル	920MHz 帯/17（工場出荷時）,21,25,29ch
		伝送方式	GFSK 方式
		送信出力	10mW（工場出荷時）,5mW
		無線到達距離	見通し 60m
	スマートメータとの通信（特定小電力無線）	周波数帯域/チャンネル	920MHz 帯
		伝送方式	GFSK 方式
		送信出力	20mW
		無線到達距離	見通し 60m
ヒューマンインターフェース	状態表示ランプ	POW ランプ　×1，WAN ランプ　×1， ACT ランプ　×1，SMT ランプ　X1	
	スイッチ	リセットボタン　×1	
動作保証環境		温度 0～40℃　湿度 10～90%（ただし、結露なきこと） 屋内専用、高度 2000m 以下	
外形寸法（スタンド含む）		約 178mm（H）×172mm（D）×76mm（W）	
電源		AC アダプタ（AC100V±10%　50/60Hz）	
定格		DC12V　0.12A	
質量（スタンド含む）		約 380g	
VCCI		VCCI クラス B	

15.2 測定装置

項目		諸元および機能	
無線インターフェース	特定小電力無線	周波数帯域/チャンネル	920MHz 帯/17(工場出荷時),21,25,29ch
		伝送方式	GFSK 方式
		送信出力	10mW(工場出荷時),5mW
		無線到達距離	見通し 60m
ヒューマンインターフェース	状態表示ランプ	電源ランプ×1, 無線状態表示ランプ×1	
	スイッチ	電源スイッチ　×1	
		無線設定スイッチ	チャンネル切替　×2, 送信出力　×1
CT ポートインターフェース	CT ポート:1,2	主幹用 2 ポート(CTF-13NF-NE または CTF-13NF-NEW を接続)	
	CT ポート:3,4	PV 用 2 ポート(CTF-13NF-NE または CTF-13NF-NEW を接続)	
	CT ポート:5～12	分岐用 8 ポート(CTF-6-NE または CTF-6-NEW を接続)	
データ測定機能	測定方式	電圧、電流を 10s 周期に約 100ms サンプリングして電力を測定 AD コンバータ使用のサンプリング方式	
定格入力電流	CT ポート:1,2	AC60A(電流センサ 1 次側、波高率 1.4)	
	CT ポート:3,4	AC30A(電流センサ 1 次側、波高率 1.4)	
	CT ポート:5～12	AC20A(電流センサ 1 次側、波高率 1.4)	
電力測定精度	主幹(CT ポート:1,2)	±5.0%(定格入力電流の 3%～100%、定格入力電圧、定格周波数、力率 1)	
	PV(CT ポート:3,4)	±5.0%(定格入力電流の 20%～100%、定格入力電圧、定格周波数、力率 1)	
	分岐(CT ポート:5～12)	±10%(定格入力電流の 10%～100%、定格入力電圧、定格周波数、力率 1)	
動作保証環境		温度 0～40℃　湿度 10～90%(ただし、結露なきこと) 屋内専用、高度 2000m 以下	
外形寸法		約 151mm(H)×43mm(D)×153mm(W)	
電源		AC100V±10%　50/60Hz	
消費電力		1W(最大)	
質量(本体のみ)		約 330g	
VCCI		VCCI クラス B	

15.3 電流センサ

型名	CTF-13NF-NE/CTF-13NF-NEW	CTF-6-NE/CTF-6-NEW
定格 1 次電流	AC100A	AC20A
測定電線直径	13.8mm 以下	6mm 以下
ケーブル長	約 1.5m	
固定方法	測定する絶縁被覆電線にクランプ	
許容着脱回数	約 100 回	

16 ご相談窓口

1 マイページトップの「サポート・お問合せ」をクリックする

「お問い合せの前に」「お電話でのお問い合わせ」「ホームページからお問い合わせ」が表示されます。
本商品に関するお問い合わせ・ご相談はこちらを利用してください。
NEC スマートエネルギーサポートセンター　0120-945-520

17 索引

あ

ACT ランプ 14, 44, 66, 75
EV 充放電システム..... 17, 19, 24
SMT ランプ..... 14

か

快適エアリー 3, 19, 34

さ

スマートハイムナビ ご利用にあたって.... 20, 26

た

蓄電システム..... 19
電源ランプ..... 15, 18, 65, 66, 75

は

POW ランプ14, 17, 18, 43, 44, 64, 65, 66, 75
ペアリング 14, 15, 64, 65, 67, 70

ま

マイページトップ 46, 48, 61, 76, 80
無線状態表示ランプ 15, 35, 66, 75

や

ユニット ID 67
ユニット番号..... 67

ら

リセットボタン 14, 64, 65

わ

WAN ランプ..... 14, 18, 43, 44, 66, 75

18 ご使用にあたってのお願い

●電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

●輸出する際の注意事項

本商品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様であり外国の規格などには準拠しておりません。本商品を日本国外で使用された場合、当社はいっさい責任を負いません。また、当社は本商品に関し海外での保守サービスおよび技術サポートなどは行っておりません。
本商品の輸出（非居住者への役務提供等を含む）に際しては、外国為替及び外国貿易法等、関連する輸出管理法等をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。
ご不明な場合、または輸出許可等申請手続きにあたり資料等が必要な場合には、施工業者に相談してください。

●本商品に含まれるソフトウェアについて

本商品には GNU General Public License （GPL） その他に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。当該ソフトウェアに関する詳細は、スマートハイムナビの製品サポートページをご覧ください。

●廃棄方法について

この商品を廃棄するときは地方自治体の条例に従って処理してください。詳しくは各地方自治体にお問い合わせください。

●ご注意

（1） 本書の内容の一部または全部を無断転載・無断複写することは禁止されています。
（2） 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り・記載もれなどお気づきの点がありましたら販売会社またはアフターサービス担当にご連絡ください。
（4） 本商品の故障・誤動作・天災・不具合あるいは停電などの外部要因によって通信などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損失につきましては、当社はいっさいその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5） せっかくの機能も不適切な扱いや不測の事態（例えば落雷や漏電など）により故障してしまっては能力を発揮できません。取扱説明書をよくお読みになり、記載されている注意事項を必ずお守りください。

【個人情報のお取り扱いについて】

当社では、個人情報保護ポリシーを制定し、お客様の個人情報保護に努めております。お客様からご提供いただく情報に含まれるお客様の個人情報は、お客様への連絡やお問い合わせにお答えするために取得し、他の目的に利用することはありません。また、お客様の承諾なく第三者へ個人情報を提供することはございません。ただし、業務を委託するために業務委託先に個人情報を開示する場合があり、その場合には秘密保持条項などを含む契約を締結したうえで委託し、個人情報を適切に管理します。個人情報に関するお問い合わせやご相談がある場合は、販売会社またはアフターサービス担当までお願いいたします。

END USER LICENSE AGREEMENT

1. License Grant and Limitations. The End User License Agreement shall state that:Licensee grants the end user（“End User”）a non-exclusive license to use the Sublicensed Code and related documentation. End User shall only use an executable version of the Sublicensed Code in connection with a Target Application. End User shall be prohibited from:（i）copying the Sublicensed Code, except for archival purposes consistent with the End User’s archive procedures;（ii）transferring the Sublicensed Code to a third party apart from the Target Application;（iii）modifying, decompiling, disassembling, reverse engineering or otherwise attempting to derive the source code of the Sublicensed Code;（iv）exporting the Sublicensed Code or underlying technology in contravention of applicable U.S. and foreign export laws and regulations; and（v）using the Sublicensed Code other than in connection with operation of the Target Application. End User may assign its right under this End User License Agreement to an assignee of all of End User’s rights and interest only if End User transfers all copies of the Sublicensed Code subject to the End User License Agreement to such assignee and such assignee agrees in writing to be bound by all the terms and conditions of the End User License Agreement.

2. OwnershIP; Disclaimers; Limitations of Liability. In addition, the End User License Agreement shall:（i）state that the Sublicensed Code is licensed, not sold and that Customer and its licensors retain ownershIP of all copies of the Sublicensed Code;（ii）expressly disclaim all warranties;（iii）disclaim all implied warranties including, without limitation, the implied warranties of merchantability, fitness for a particular purpose, title and noninfringement; and（iv）exclude liability for any special, indirect, punitive, incidental and consequential damages.

3. Third Party Beneficiary. The End User License Agreement must contain a provision substantially similar to the following: Third-Party Beneficiary. The parties hereby agree and intend that Wind River Systems, Inc., a Delaware corporation having its princIPal place of business at 500 Wind River Way, Alameda, California 94501（“Wind River”）, is a third party beneficiary to this agreement to the extent that this agreement contains provisions which relate to End User’s use of the Sublicensed Code licensed hereby. Such provisions are made expressly for the benefit of Wind River and are enforceable by Wind River in addition to Customer.

4. U.S. Government Use. All Sublicensed Code and technical data are commercial in nature and developed solely at private expense and are deemed to be “commercial computer software” and “commercial computer software documentation”, respectively, pursuant to DFAR Section 227.7202 and FAR Section 12.212(b), as applicable. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of the software program and/or documentation by the U.S. Government or any of its agencies shall be governed solely by the terms of this Agreement and shall be prohibited except to the extent expressly permitted by the terms of this Agreement. Any technical data provided that is not covered by the above provisions is deemed to be “technical data-commercial items” pursuant to DFAR Section 227.7015（a）. Any use, modification, reproduction, release, performance, display or disclosure of such technical data shall be governed by the terms of DFAR Section 227.7015(b).

5. Export Restrictions. The Sublicensed Code may only be exported or re-exported in compliance with all applicable laws and export regulations of the United States and the country in which End User obtained them. The Software is specifically subject to the U.S. Export Administration Regulations. End User may not export, directly or indirectly, the Software or technical data licensed hereunder or the direct product thereof to any country, individual or entity for which the United States Government or any agency thereof, at the time of export, requires an export license or other government approval, without first obtaining such license or approval. If End User is a European Union resident, information necessary to achieve interoperability with other programs is available upon request.

この取扱説明書は、古紙配合の再生紙を使用しています。

2015 年 7 月

日本電気株式会社

© NEC Corporation 2015